京城日報
五日夕刊
發行所 京城日報社

◎北京外交界又復動搖
段總理の林公使訪問

段總理は二日午前林公使を訪問し一時間に亘り談話を交へ午後總理は米國公使の來訪に接し密談數刻に亘れり外交界の風雲又復動搖を來したるもの、如し（北京特電）

◎米國海軍と議會
必要の法律を可決次第實行

華盛頓來電＝海軍省は報告して曰く、米國海軍と聯合國海軍との間に實行的協商を議決し議會が必要の法律を可決し次第之を實行し得る樣其準備を爲したりと（紐育電報）

◎宣戰問題委員會可決

米國上院外交委員會は對獨宣戰問題に關する決議案を可決せり兩院共多數にて通過せん（路透電報）

◎ル氏と出征軍組織提議

ルーズヴエルト氏は佛國戰場に出動せしむ可く自ら一師團の米國軍を組織せん事を提議せり（紐育電報）

◎獨墺講和提議決定

最も信頼す可き伯林一新聞の報ずる處に依れば獨墺二國は墺國の發議に基き再び聯合國側に向ひ新たなる講和の提議を爲すに決せりと（倫敦電報）

◎黒田侯嗣子來鮮

黒田長成侯嗣子長禮氏五日朝連絡船高麗丸にて着釜直ちに京城へ向ふ（釜山特電）

李埈公御葬儀

▲勅使御使參向

五日故李埈公殿下御葬儀當日に就き勅使釜屋海軍武官皇后宮御使高橋陸軍武官は隨員田中通譯生川村屬の兩氏を從へ馬車三臺にて騎馬警部四名に前後を警衛せられ午前七時四十分總督官邸發雲峴宮なる同公邸に參向せり同八時着車に先立ち權藤事務官其他李王職員は玄關に出迎へ軈て貴賓室にて假喪主李鍝氏並に親戚子爵李埼鎔氏に對し 天皇陛下より祭粢料一萬圓白絹五疋又 兩陛下より榊二對下賜の御沙汰傳達あり兩武官は靈前に燒香禮拜の上同三十分退出歸邸したり

▲公家御禮奏上

五日李埈公殿下御葬儀に就き兩陛下より優渥の恩賜ありたるに對し閔李王職長官、親戚李埼鎔子は同日午後三時過長谷川總督を官邸に訪問し御禮執奏方を依頼し退出せりと

▲赤十字花輪獻納

日本赤十字社にて五日李埈公殿下の御葬儀に對し 男本社長の弔詞を奉呈し且朝鮮本部よりは花輪を獻せり

◉總督と大邱

長谷川總督は今回巡視記念として公私學校六百圓七十歳以上の高齢者へ二百圓大邱常成會へ二十五圓慈惠醫院施料患者へ二十八圓五十錢を寄贈し鈴木道長官、服部警務部長、吉松第一部長、竹崎大邱府尹、松本第二部長には總督定紋入のカウス釦一組宛を贈れり（大邱）

◉中旬鮮鐵荷動

三月中旬の荷動狀態を見るに發送噸數五萬九千五百七十九噸收入十六萬五千三百九十五圓にして之を前年同期に比較するときは數量に於て一萬五千八百四十九噸收入に於て五萬六百五十二圓の增加を示せり本旬中出荷の主なるもの左の如し

一米、二石炭、三大豆、四木材、五豆粕、六鑛石、七豆粕、八鑛石、九鮮魚、十鮮魚、十一、十二木炭

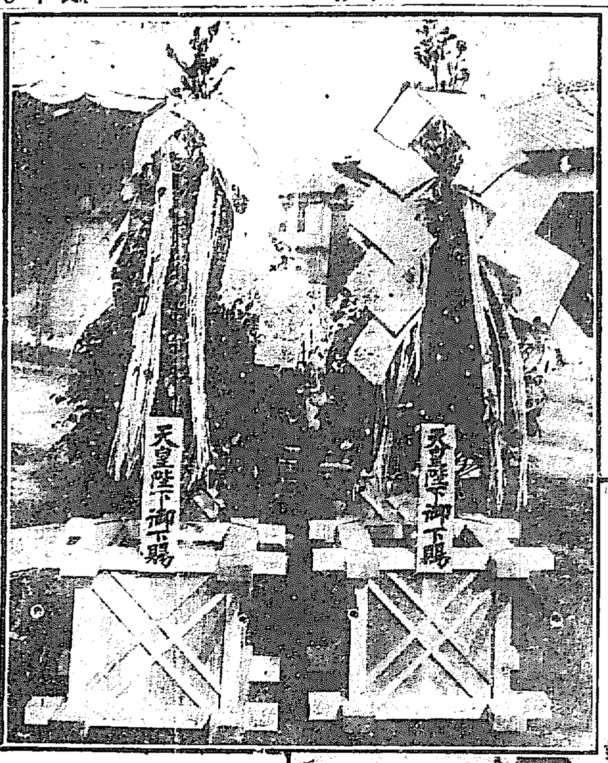
の順序にして出荷概況次の如し

▲米 米價は内地安に反し鮮内相場は稍強氣配を呈し取引不引合のため内地移出は依然不振なるも鮮内取引は活潑にして且露國に於ける食糧品の缺乏は鮮米の需要を促進し總數一萬噸を發送し貨物中の第一位にあり露斷行は沛勵に陸揚さるもの多く鐵道に依るものは東淸線貨車不足のため見るべきなし ▲石炭 鎭南浦港の解氷により海運の便復舊せるにより平壤發無煙炭の出炭盛況を呈し且安東發撫順炭も依然好況なりしにより約九千噸を出荷し荷動旺盛なり ▲大豆 内地移出は依然發送制限のため大差なく釜山著として沿線より出荷するもの多く總數四千二百噸餘に達せり ▲木材 季節の關係上荷動愈々活況を呈し新義州發鴨綠江材にして軍用に供せらるもの及び寺洞鑛業所に使用さるもの多數を占む ▲鑛石 鎭南浦發官鹽減少せるため三千七百噸の出荷を見たるのみなり ▲穀 先月以來漸增の狀態にあり滿洲より到著するもの多し ▲豆粕 需要期なるにより依然好況にして大部分は内地行出品なり前年は船便によるもの多かりしが本年は鐵路によるもの多し ▲鮮鉛 近來英米兩國に於ける鉛相場開けたると内地鉛消費增加せるため出荷盛況を呈せり ▲苗木 季節の關係上相當の荷動を見るに至り總數約三百噸の出荷ありたり

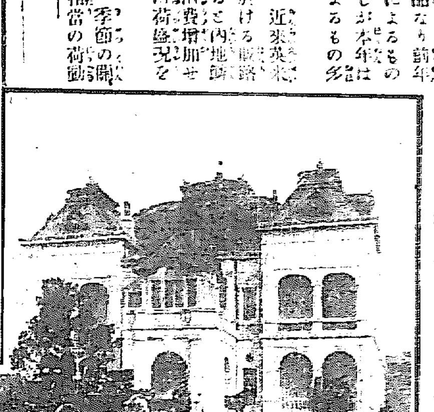
要之本旬の貨物の發送は主要貨物たる米石炭の出荷衰へざると需要期に入り大豆木材豆粕等の荷動殷盛なりしにより收入好成績を示せり

◉京畿麥作減收豫想

（水原）模範場其他の調査に依れば京畿道本年の麥作は兎角良好ならざる由孰れも一二月の候の冱寒に基く麥株の根枯れ等も少からざる模樣にて又一方耕作地は年々其の反別の增加を見つゝある割合に比すれば結局多少の減收を免れざるべしと當局は語れり



李埈公邸へ御下賜の榊



勅使御使の退邸

◉公有水面使用許可

釜山朝鮮水産組合にては豫て木浦海岸通地先の海面に活簀設備の計畫中なりしが今般百五十坪を使用面積として公有水面の使用方總督府より許可ありたりと

◉鮮銀券發行高

三月二十五日より同三十一日に至る一週間朝鮮銀行券發行平均高は三千八百二萬七千五百卌七圓正貨準備發行平均高一千三百九萬五千圓保證準備發行平均高二千四百九十三萬二千五百二十七圓なり

◉警務部長送別會

今回榮轉の慶南警務部長前田昇氏は後任水間春明氏著任と同時に赴任する豫定なるが三日憲兵隊警務部警察署聯合にて龍頭山にて盛大なる送別會を開催せり同氏は八年の久しく本道に在勤し晉州の爲めには市場問題市區改正等を斷行し良政蹟少なからず市民は惜別の情に不堪官民聯合送別會を開催し記念品を贈呈する筈（晉州）

◉前田大佐著任期

慶尚南道警務部長より憲兵總監部高等警察課長に轉任せる陸軍憲兵大佐前田昇氏は來る十日朝南大門驛著列車にて著任す可しと

◉菅野東亞社長催宴

新任披露の爲め入京中なる東亞煙草會社長菅野盛三郎氏は四日午後六時半より山縣政務總監以下總督府並に所屬官署の各課長以上百數十名を朝鮮ホテルに招待せり

◉スタール博士來鮮

市俄古大學教授フリードリックスタール博士は隨員二名と共に近々來鮮する由なり

◉水間憲兵中佐

前田大佐の後を襲ひて慶南警務部長に轉任せる水間憲兵中佐は十一日前任地鏡城出發十三日淸津經由十六日入京一泊の上任地晉州に赴く可しと

◉大田鮮銀理事發期

朝鮮銀行大田理事は五日夜大連に向け出發すべしと

◉進明女學校評議員會

財團法人進明女學校にては四月二日午後同校事務所に於て評議員會を開き評議員の尹、野田總督府技師出席の上大正六年度歲入出豫算を決議したるが其の大要左の如し

經常部歲入 金一萬八千六百六十六圓
臨時部歲入 金二萬四千七百五十五圓
計 金四萬三千四百二十一圓
經常部歲出 金一萬八千百八十九圓
臨時部歲出 金二萬二千九百七十八圓（校舍新築費）
同豫備費 金二千二百五十四圓
計 金四萬三千四百二十一圓

莫斯科より

二月十五日 小田榮

實物は別稿にて御覽下さいませモスコーの寺は名物で市中に四十の四十倍ありと稱せられてゐます丈けそちらを見ても金ピカの寺は仲々多くあります又十二三世紀頃からの古い珍らしい建物も大分見當ります。二週間後ペトログラードに向ふ豫定です。歸朝は四月頃になりましよう。

□庭園學の權威
田村林學士の支那視察

京都帝國大學農科大學講師林學士田村剛氏は支那に於ける庭園調査の爲め渡支の途次に釜山府の委囑に因り調査したる龍頭山、伏兵山、龍尾山の公園設備に就き、猶詳細の調査を爲すべく去月三十日來釜去る一日東萊を經て海雲臺に赴き三日歸釜五六日頃出發京城に一二泊し同地より奉天を經て北京に到りて鐵路漢口に出で上海より歸朝の豫定なるが去る一日釜山に於て來訪の記者に語りて曰く『予は大學に於て庭園學の講座を擔當し居れるが朝鮮には一兩度參り各地を觀察したるも支那には未だ一度も往きしことなく只書物の上に於て知得したる資料に過ぎず依て今度出張を命ぜられたるも是非實査の必要を感じたるにて殊に本年は天津に赴き次いで天津北京に到り夫れより黃河に溯り漢口に出で上海を經て歸朝すべく旅程は約三箇月の豫定なり』

▲釜山公園に就て

次で釜山公園の施設に就き語りて曰く「予が本年一月釜山に立寄りし際に實地踏査を爲したる龍頭山公園伏兵山龍尾山の公園設備に對する意見の大要は其當時の貴紙上に掲載せられたる予の談話と別に異なりたることなく龍頭山公園は同山上に奉祠せる神社を中心として幽邃莊嚴なる風致林を造成するを主眼とし、伏兵山公園は現狀赤裸なる禿山にして公園としての設備は道路、植栽其他悉く新設すべきもの而已なるが故に此場合龍頭山公園に於て缺如たりし人工的方面を主として設計し和漢洋折衷式の公園を造るは將來内地朝鮮並に滿蒙を聯絡する大陸の玄關口たる點よりするも亦將來東洋の樂園として廣く内外客を誘致する上より見るも和漢洋折衷式公園と爲すの頗る意味あるを思へばなり、龍尾山に至つては猶ほ頗大の地にして何等加工するに餘地なし然りと雖も地景も眺望に適し容易に棄つ可らざるものあり龍頭山は神社を中心として其非凡なる眺望の美を發揮するを以て眼目とすべし、以上の方針に基きて專ら設計を爲すべし予が先般來釜の際は大體に於ての調査を行ひしに過ぎざるを以て今回は微細に涉りて研究調査を遂げ設計を爲さんとするものなり（釜山）

◉仁川

▲米穀在庫數 仁川穀物協會の調査に依れば三月末日仁川に於ける米穀の在庫高は玄米約二十八萬六百叺白米九千九百六十叺大豆二萬七千五百五十叺小豆五千九百叺小麥一萬二千八百叺荏子二千二百八十叺粉米四千三百叺其他千八百叺合計三十四萬九千餘叺にして中旬在庫高に比較すれば約三萬叺の增加を見るに至れり此れ大阪に於ける鮮米相場は割高なるが爲めに移出殆んど行はれず露國行軍需米も豫期せし程には進捗せず之れに反して黃海道忠淸道方面より籾玄米の入津甚しく鐵道廻著も又增加したる爲め益々在庫數の減增を見るに至りしなり

儀仗兵堵列（步兵第七十八聯隊と左端池内聯隊長）

◉晉州

▲石井管理者記念品 辭任せし石井管理者に對し官民聯合にて在職中の功勞に對し金盃を贈

◉平壤

▲朝鮮稻種の注文 ハルビン某商會より平壤精米所に對し稻種子（日之出）千三百石の大注文をなし來りたるがコハ滿洲里附近に於ての使用種子なりしと云ふ ▲平電氣總會 平壤電氣會社にては來る四月下旬株主總會を開催し今期利益金相當をなすべく歐洲戰亂の影響を受け石油の暴騰は勢ひ電燈の增加を喚起し需要日に多きを加へ爲に會社は今期に於て九分以上の配當をなすべき見込にて目下決算期の迫りたる昨今非常に繁忙を極めつゝあり ▲麥酒移入漸盛 昨年中麥酒移入の麥酒は各種類とも晩春より初夏に至り頗る旺盛を極めたれど需要の最盛季節たる仲夏より俄然減退し終に前四年中に比すれば總計の上に於て若干の減額を示したるが之れが原因は目下研究中に屬すれば姑らく他日に讓り本年は三月初旬に於けるサクラ麥酒の移入を先頭に引續きキリン、朝日等續々着荷あり現に四日も朝日三百函の到著ありたれば最早や麥酒季節に入れる事とて今後の移入は漸く盛況を呈するなるべし ▲小學校の入學式 平壤尋常小學校及び平壤尋常高等小學校に於ては四日午前十時より各入學式を擧行したり本年入學兒童の數は平壤尋常小學校入學生男子七十名女子五十五名計百廿五名なるが平壤尋常高等小學校尋常科入學生は男子四十七名女子五十五名計百二名高等科入學生は男子五十名女子十九名なりと ▲東亞煙草會社招宴 東亞煙草株式會社長菅野盛次郎氏は五日午後三時半來壤する由なるが同氏は當地方視察の序を以て平壤の官民有志を同夜大同館に招待し就任披露の宴を張るべく四日案内狀を發せり ▲官吏出發 光州地方法院井邑支廳檢事野尻時太郎氏及び京城地方法院判事中村梵之丞氏道警察部警部田中博次郎氏等は四日午後一時三十分發列車にて出發赴任の途に就きたり驛構内多數の見送りに近來に無き盛況を極めたり ▲栗原教授の講演 京都第三高等學校教授栗原基氏は四日午後一時三十分列車にて新義州より來壤平安南道教育會の需に依り同日午後四時より鐵道俱樂部に於て講演を爲し尚午後七時より鐵道俱樂部に於ても講演を爲す由 ▲地方費支辨旅費額變更 平安南道地方費支辨に依る旅費額は内地人官吏にして俸給五十圓以上の者は日額一圓六十錢五十圓未滿の者は日額一圓二十錢朝鮮人は日額四十錢なりしが四月より右旅費額は宿泊滯在の場合に限り支給し日歸の場合又は歸廳當日の旅費は其半額を支給すべく改正せられたり

人事消息

▲竹内判事（新任馬山支廳判事）九日頃仁川出發赴任 ▲袁助次氏 四日夜入京北京館へ ▲宮崎又次郎氏（江原道第二部長）五日朝退京

逐鹿夜話

▲選擧期日も追々迫つて來たが各派の候補者は全部發表されないけれど夫れでも各府縣を通じて總數六百卅名の候補者が出て居る其の中で最も好取組と見ねるのが熊本の政友會の憲政會の濱口に對する政友會の中宗像君に對する憲政會の山田君高知の野君米澤の政友會の小林君に對する憲政會の黒金君若松の憲政會の柴君に對する中立の白井君廣島の憲政會の早速君に對する政友會の用本君などが其の重なるものだらう

▲此の前の總選擧には地方へ能く應援演說に出かけた吉野作造博士は今度は引つ込んだぎり顏を出さない其の理由と云ふのは『僕は三黨主義であると云ふのは僕自身で是非出してやり度いと思つて居る候補者が國民黨に一人憲政會に一人政友會に一人あるだから一人許り應援はチト臆劫だ其れで今度は何處へも出ない』と

▲福島縣下の官炭坑內渡邊金次郎と云ふ人から憲政會本部へ宛て金を送ると云ふ前觸れがあつた本部では選擧費として莫大な金が來るかと思つて居ると爲替で來たのは金八十錢紙には自分は日給の內から二錢宛每日貯めた此金を選擧費に呈すると書つたので之れぢやれねと一同顏を見合せて苦笑

春愁新なり　故李埈公御葬儀

勅使、御下賜の幣帛を授く

南山北岳、春愁の霞に深く包まれたる五日李埈公殿下の御葬送はいとも森厳に執り行はれたり此の日

慶雲洞の公邸に未明より李王職各係員参集し御葬列の準備よりは賢き辺りよりの御使御迎への準備怠りなかりしが午前七時五十分に至り

聖上御使　釜屋海軍少將皇后の宮御使高等大佐田中川村の二勅使は儀仗の騎馬警部に前後を護らせ馬車にて公邸に参著し揃藤事務官金武官の御案内にて設けの休憩室に入れば假喪主なる

李鍝公子　は李培鎔子爵附添ひにて勅使御休憩の室に伺候す、勅使は喪主に對し賢き辺りよりの思召の旨を傳へ御下賜の幣帛を授けられ喪主は恭しく拜授して退出し

柩前に供し再び御休憩所に出で、勅使に敬禮すれば勅使は御休憩所より殯所に進み柩前御焼香ありて退出續いて昌徳宮御使武官德壽宮御使金春熙男王世子御使殿贊侍、閔李王職長官國分次官其他近親貴族参拜しいよ／＼名誉

柩前祭を　行ひ午前八時紅緞子にて蔽はれたる靈柩は綿により

靈柩を載　せたる小輿は内庭に昇き据えたる小轝に移され茲にて公妃以下の近親婦女家族等は遺骸に訣別を告る悲しき路祭行はれ門を出で邸内に諸列せる松本中佐の指揮する後部儀仗兵の吹奏する哀の極の哀調に送られて邸前に出で柩は茲にて再び大轝に移され九時五十分鍾路に出で始めて茲にて

全葬列動　き鍾路通りにて諸処して待ちたる儀仗の一隊は歩兵第七十八聯隊長池内大佐之を指揮し聯隊旗を眞先に捧げ先驅憲兵に次で

朝鮮古式の葬列中に異彩を

添へたり次で昌徳、徳壽兩宮王世子各貴族在鮮の主なる官民より贈られたる生花、花環無數に續き第一等李埈公殿下の

緋縮の銘旌　と白色の功布進み六名の勲章捧持者別香、雨傘、幾多の大輿輦は靈轝を圍繞して徐々と進み公生前に随侍したる李務官武

歩武肅々　と進めば五對の望燈之れに次ぎ方相氏、哭婢、行子、拔龍、紗籠、雨傘、魂轎行き揭盒香亭、魂帛腰轝、祠版腰轝、肩轝皆進み行列は無數の紗籠の間を進み

行路には　黄白の紙錢雪の如く落花の如く撒き散かれたる上を天皇皇后兩陛下東宮殿下より御下賜の榊に次ぎ各皇族の宮より

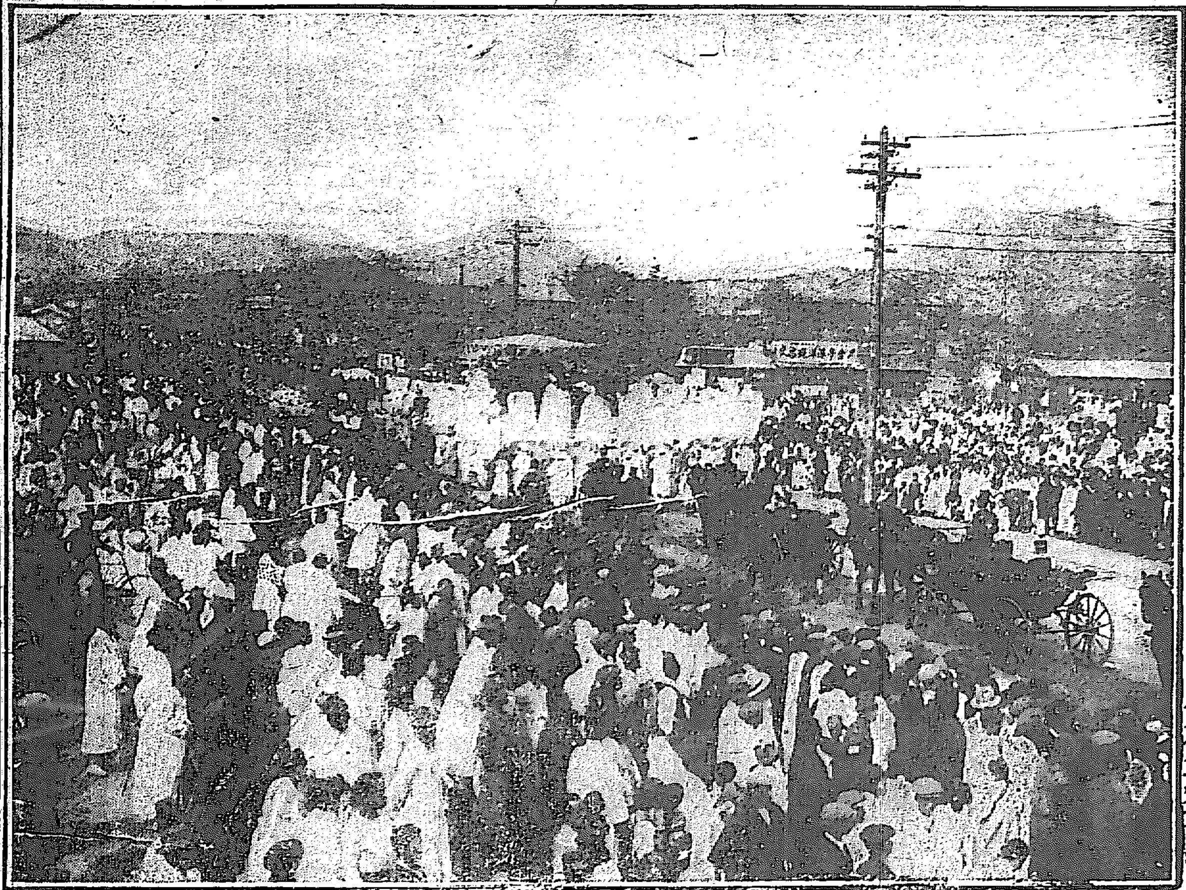
御贈送の　榊十三對之れに次ぎ寺内總理大臣長谷川總督兒玉朝鮮より贈られたる榊、白衣の仕丁に舁はれて

官乘馬にて随ひ其の後より當年六歳なる喪主李鍝公殿下第二公子鍝氏は黒紗を

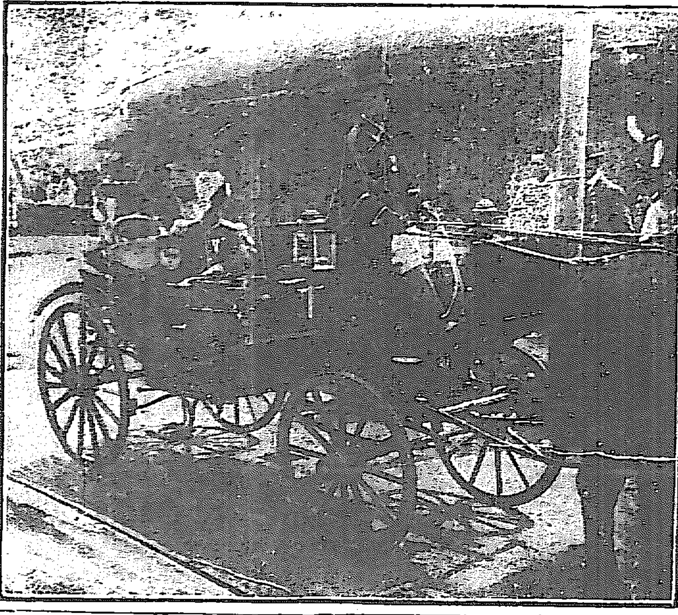
詰襟洋服に　學生帽を戴り李培鎔子爵附添ひて馬車にて随ひ次で昌德、德壽、兩宮、昌德宮御使、李堈公御名代金武官等諸馬車にて随ひ喪服の御親戚は腕車にて閔李王職長官國分次官は馬車にて随ひ次で松本中佐の指揮する歩兵七十八聯隊一個大隊及び朝鮮歩兵隊全部及び軍艦千代田の水兵百數十名参列し其の葬列

約二十丁の　長きに達し鍾路通左側には在京城官公立學校生徒二萬餘遂し其他の拜觀者沿道に堵を為して其の盛儀を觀て靈柩に訣れを惜み朝鮮未曾有の葬儀なりと稱へ合へり

沿道の警戒　嚴重にして何かの混亂なく葬列亦整々粛々として一糸紊れざりしは係官の苦心の程も思ひ遣られたり斯くて葬列は山を築きたる如き群衆の間を義州通に出でそれより阿峴を過ぎ高陽郡孔德里なる御祭場に入れり



靈輿光化門前通を過ぐ



御葬列中の假喪主李鍝氏（[illegible]）

柩、送り參らすべく　數萬の群衆御通路を圍みて蕭たり

五日の午前は十時葬列の公邸を發せざる以前より早くも今日の御葬儀を見んものと市民はもとより界隈遠近の各地より出で來れる群衆は頗る多く前日來より入京泊り込み居りし近在部落の者も尠からず、午前七八時頃には早や布衍の大通りなる

鍾路二丁目　より鍾路一丁目、西大門町一、二丁目より竹添町の町外れに至る沿御通路の兩側は十重二十重に折り重なれる老若男女の内鮮人を以て人垣を築きたり、所轄鍾路警察署にては署長以下十餘名の警部補部長にて非番巡査を指揮し嚴重なる取締りに任じ數歩毎に警官を配置して通路に

雪崩れ出づ　る群衆の制止に努むる一方騎馬巡査手綱を絞て之を輸たるが一般群衆は静粛に兩側に整列し何等の喧騒も生ぜざりしも何分にも數萬人の人出ありし事とて後方の者は警官の制止も耳に入れず路傍の樹木乃至は屋根の上に蹲座せるもあり一方電車は何れも

立往生の姿　となり鍾路の交叉點を中心として一は東大門方面に他は西大門方面に其儘引返せり更に麻浦行電車は葬列の通行前より運轉を停止し此の方面に於ける通路の兩側は是又間斷なく群衆を以て満されしが何所も警戒行屆きたる爲め何等の

事故もなく　更に龍江西阿峴より式場迄は大部分京城分隊にて他一部は龍山分隊に於て何れも沿道を警戒して雜踏を防ぎ葬列の通路は極めて平安に保たれ御葬列は粛々として正午祭式場なる孔德里御墓所に入れり

本月は納稅期　四月は市街地稅及び學校組合費の第一期納付期なるを以て府稅務課にては滯納等の事無き樣一般の注意を希望し居れり

米國義勇兵に應募　布哇に於ける日本人會の決議

布哇生れの日本人より成る市民會は五日開會米國大統領ウヰルソン氏の宣戰布告に贊成し義勇兵募集に應ぜん事を決議し其旨直ちに大統領に打電せりとの報あり（大阪特電）

飛行機に乘つて選擧運動

福島縣中村候補者新井[illegible]氏は飛行機を以て選擧運動を行ひたり（東京電話）

兵器製造會社社長を恐喝す

大阪北區上福島橫山吉藏（三七）は豫てより日本兵器製造會社の内幕を知悉せるを奇貨とし記事を作製し原稿を獻して社長を恐喝し五千圓を詐取せんとせる事其筋に探知され拘引取調中（大阪特電）

六雄澤慶師大和本然寺へ

西本願寺管長代理を辭せる六雄澤慶師は五日親大和の本然寺に歸れり（大阪特電）

吸殻から野火

四月一日午後三時半頃京城冷洞より高陽郡延禧面奉元寺に通ずる山手の芝原より發火し芝地約五十坪を燒失したるが附近には京義道植付けの山椒ありしが別に被害なかりし發火の原因は二名の旅鮮人が煙草の吸殻を棄て、逃走したる形跡ありと

慈炎　高野山高祖相傳[illegible]岡本一信法師出張　四月五日より二十五日まで　毎日早朝より午後四時まで　京城本町三丁目（[illegible]）於樓上廣間執行

仁川春期清潔法（仁川電話）

仁川にては四月七日より二十一日迄十[illegible]
[illegible]
一、[illegible]の内外を清潔に掃除し塵芥は一定の場所にて焼却すること
二、[illegible]寝具、衣服等は之れを取出し日光に曝し[illegible]
七、[illegible]の他は[illegible]
[illegible]

課題俳句募集規定

[illegible]

天気予報　曇り小雨

商況

東京債券現物特電

[illegible]

京城公債直取引

[illegible]

深川在米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

綿糸安綿布持合　[illegible]

今前場は米棉一圓十錢高　[illegible]

約五十錢安　[illegible]

龍レ一六圓五十七錢五厘　[illegible]

綿糸現物　[illegible]

布現物　[illegible]

鐵材更に强調　[illegible]

人氣更に高模樣　[illegible]

眼先一段暴騰　[illegible]

みれば我鐵價の先行きは　[illegible]**鑄物類**[illegible]

米鐵の賣止　[illegible]**全然虛構に過**[illegible]

京城正米

麻布類は[illegible]

京城雜穀

[illegible]

確實（定期米賣買案内）迅速　㋮ 廣澤正次郎　仁川海岸町 取引所仲買人

錬益々不勢　[illegible]

元山には浦鹽錬の到著多く　[illegible]

當驛著の二十五圓　[illegible]

釜山より入電によれば錬安い急賣　[illegible]

● **セメント活狀**　[illegible]

如何な新高値に出　[illegible]

需用多く取引頗る活潑なり

● **滿洲大豆高**　[illegible]

二十六錢高　[illegible]

一二十錢高唱

● **精米漸次引締む**　[illegible]

十四圓六十錢が最底

● **石鹼好賣行**　[illegible]

㋚ 期米賣買　齋藤榮之助　仁川海岸町三丁目 米豆取引所仲買人

一割高位　[illegible]

初夏に比ぶれ約　[illegible]

● **綿布麻布市況**　[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

仁川現物市場

[illegible]

仁川期米

五日前場　[illegible]

十六圓八十六錢と昨日大阪前寄[illegible]

止二錢高の入電[illegible]

節同事の移[illegible]

大阪四節八十三錢小安[illegible]

市場零聞

續て不勢　[illegible]

無暗の大上鞘　[illegible]

反動投げ招致を買[illegible]

前場の手振　[illegible]

仁川米豆取引所

五日の六月限

	前場	
寄付	十三圓〆十三錢	
止め	十三圓〆七錢	
高値	十三圓〆十五錢	
安値	十三圓〆五錢	
出來	三千八百五十石	

平均値段		
一節	十三圓〆六錢	
二節	十三圓〆六錢	
三節	十三圓〆六錢	
四節	十三圓〆七錢	
五節	十三圓〆七錢	

四日後場　[illegible]　前日と比較　[illegible]

限は恰も正米の捨て場四月限五月　[illegible]

正米は實に空前の大堆積　[illegible]**比較的軟質物**[illegible]

折柄火急の倉庫欠乏の策　[illegible]

正米界に大打擊期米崩落　[illegible]

露國輸出期近の不勢　[illegible]

株式會社仁川米豆取引所仲買人　金　高田仲買店　仁川海岸町三丁目　電信略号ヨク　電話長一〇〇　電話二一九　●定期米賣買案内 最信時報發行 一部御希望者へ贈呈　●御委託御注文は御遠慮なく

㋑能く賣る　[illegible]

㊐能く買ふ　[illegible]

㊀能く買ふ　[illegible]

今の商内　[illegible]

期米前途觀　[illegible]

●香煙縷々として悲し
孔徳里御墓所壯嚴なる斂葬の儀
會衆袖を潤す喪主若君の御燒香

孔徳里の祭儀場に行列の先頭の著きたるは豫定の通り正午十二時、これより曳き馬車人車自動車にて場内に入り來れる大禮服の朝鮮貴族、正裝の陸軍將校、文官等は

■劔光暗影燦然とし て控席に待ち

受けし正面葬場の下なる祭閣の階下には白砂の道を設らへたるも尊とし行列の御佐兵は場内東側の定位置に整列、次に朝鮮の古式によれる方相氏、哭婢、行子等の行列はそれ〴〵定めの位置につきた故人の御魂を迎へて歸るてふ魂轎の二つも靜々として入り來るかくて午後零時廿分に至りて約三百人の人々に擔はれたる靈轝は祭場祭閣内に安置され

■天皇陛下、皇后陛下 御下賜並び

に皇太子殿下、各宮殿下、其の他朝鮮貴族文武高官より贈られたる夥多の花環も祭閣の左右に安置されたり猶ほ祭閣の裡には兩陛下御下賜並びに皇太子殿下、各宮殿下、昌徳宮、徳壽宮、若宮、李堈公殿下の贈られたる御鯉餠をはじめ長谷川總督、山縣政務總監、秋山軍司令官、立花師團長等の供物も左右に供へられ朝鮮の古式によれる各種の供物の前には銅器の香爐に

■香煙縷々と立のぼ るも畏こし

斯くて式場の準備全く整ふと共に御轎車に召されたる喪主李鍝公御二公子は未だ幼き黑の詰襟服を召されつゝ可愛らしき學手の禮を迎へられつゝ式場に入らる靜かに正面喪主の御席につかるゝも悲し、かくて午後零時四十分勅使並に皇后陛下御使各宮殿下御使代の御著と共に三時砲四門の祭出す弔砲は殷々として響き渡り

■祭閣の前に設らへ たる廳の天幕

内には勅使、皇后陛下御使、各宮御使代を始め向つて右側なる喪主、昌徳宮殿下御使、徳壽宮殿下御使、若宮殿下御使、李堈公殿下の順にて整列、廳の縢衣せられたる御親戚の人々も其傍りに起立されたり、また親任官席には長谷川總督、秋山大將、山縣政務總監等の人々あり、朝鮮貴族の降りには大禮服の勅任官吏ありて場内壯嚴の氣滿ち〳〵たり

■斯くて式場の準備 完く整ひし後

勅使御用掛軍武官は玄事務官の御先導にて祭閣に御燒香あり　皇后陛下御使高橋武官は權藤事務官の御先導にてこれに次ぎ各宮殿下御總代御使齋藤中佐の燒香を了るや次ぎは此の日の喪主李鍝公第二公子鍝氏の燒香となりまだ御若年六歳なる公子の李子府に御手をひかれつゝ祭閣に進ませらるゝを見ては並居る人々皆悲しみの袖をしぼりたり、かくて昌徳宮御使以下會葬者一同の燒香を了りて悲しき斂葬の式を了る

♣儀仗兵の行進

●スミス氏再び來る

米國飛行家スミス氏は四月三日桑港解纜の汽船にて日本に向へり來る十七日頃橫濱著の筈なり(東京電報)

●第五期生の大飛行

飛行將校第五期生は所澤より岐阜縣各務ケ原に向け大飛行を試む可し(東京電報)

●神戸の大黑座買收さる

神戸第一の劇場たる大黑座は大阪吉田卯之助が九萬圓にて買收せり(大阪特電)

●二少年共謀して強盜を働く

京城黃金三丁目居住無職吉田藤作(一七)旭町一丁目居住自轉車職工岡井誠(一六)の兩少年は三月二十七日午後三時頃忠北沃川郡南面乾條里の隧道の入口に於て通り蒐りたる沃川郡伊南面紅淸里の金和叔(五七)を捕へ襟首を摑みて突き倒し小刀を示して脅迫したる上同人所持の二十錢銀貨一個五厘錢四個合計二十二錢を强奪して逃亡中を兩名共沃川憲兵分隊伊院派遣所の手に逮捕され目下嚴重取調中

●暴風 慶北東海岸を襲ふ
船舶其他の被害夥し=鰊魚大群來る

去月二十四日より二十七日夜に渉り慶尚北道東海岸に暴風あり迎日灣内の激浪は陸上に打揚げ爲めに海に沿ふ導外道路は破損したるが其の程度は目下調査中にして

▲未だ判明せず 斗江洞沖合に在りし打瀨網船二十隻鯟船二十隻帆船五隻は何れも沿岸に避難したるも途中にて三重縣出漁團の打瀨網船一隻(乘組員四人)は廿七日午後一時頃顚覆し乘組員は幸ひ無事なりしも船體は浦項北川口に打揚げられたり其の損害二百圓其他十隻は小破損し各隻二十圓内外づゝの損害を被りたりと迎日灣内に於ける鰊壺網二百二十四箇所の中

▲七十五箇所は 全滅したり此損害二萬二千五百圓同網の半壞百四十九ケ所此の損害約一萬四千圓なりと今回の風勢は實に近年稀の事にして急に寒威を加へだると且つ波浪に乘じて冲合の鰊魚大群を濠して迎日灣内に來襲し各所に回游しつゝありたるも前記壺網の破損修繕等に時期を失したるが幸に鰊鰈揮撈網及び刺網等を使用して約三千同此の價額

▲四萬八千圓を 漁獲したりと浦項北川口は激浪のために川底變形し水深三四尺方を増して小漁船出入し得るに至れりと

●法廷で嬉し涙
實子殺し判決

實子惣平を毆打し死に至らしめたる大邱東城町居住金物商佐藤九平(五九)に係る傷害致死事件は卅一日大邱地方法院に於て懲役一年に處し二年間刑の執行を猶豫する旨の判決言渡しありたるが被告九平は此の寬大なる判決に服罪し嬉し涙に咽びつゝ同日午後三時過ぎ釋放され歸宅せり(大邱)

○曹洞宗別院(若草町) 六日午後二時より…

♣花輪生花の行列

□王世子の御慶事
此に據らる可く
李王家制度典禮調査のため

李王家典範其他王公族諸規則調査の爲め出張仰せ付けられたる帝室制度審議會委員行政裁判所長官法學博士岡野敬次郎氏、同委員法制局參事官馬場鍈一氏、前宮內書記官栗原廣太氏一行は五日夜入港の連絡船にて釜山上陸同夜十一時發列車にて入京の筈なり(釜山)

帝室制度審議會は過般諸顧令を制定し其の公布も近きにあるべきが其と同時に目下李王家に關する制度典禮等所謂李王家典範ともいふべき詳細の法典を審議調査中にて同事業たる制度審議會中最も苦心を要するものにて就中李王家に關する儀式典禮等の沿革は頗る不明にて李王家に就いて古記錄古文書を調査するにあらざれば其の完全を期すること難く爰に同制度審議委員にして王公族制度の起草委員たる岡野博士と馬場法制局參事官及び同制度に最故深き前の宮內省調査課長栗原廣太の三氏來鮮實地調査を命せらるゝに至れるものなり一行は大概前後二箇月位の豫定にて調査を終了し復命を待つて更に審議會にかけ始めて王公族に關する制度典禮の法規も制定に至るべく之によりて來春に御內定せる梨本宮方子女王殿下と王世子との御結婚も愈々芽出度く行はせらるべく同時に日鮮關係の親密も今後益々深く且堅く結ばるべきを思へば今回我帝室より派遣來京の一行の任務決して輕からずと

岡野法學博士=李王家典範を作る可く六日來京す

●再犯モヒ患者處罰

昨年中京畿道警務部にて京城府內居住のモヒ中毒患者を收容施療快癒せしめ一同正業に就き尙再度モヒの注射を嚴禁しあるにも拘らず歸宅後又々密かに注射をなすものあり又モルヒネを密賣買するもの等續出し過般鍾路警察署にては是等のものを二十餘名檢擧して各拘留處分に處したるが本町警察署にても頃日左記八名を檢擧し各頭書の拘留處分に即決し身柄は二日西大門監獄に送りて服役せしめたり

▲拘留四十五日宛長谷川町 木君男(五七)黃金町二丁目金先基(二九)并木町尹化圭(四九)▲同三十日宛水標町李錫六(二九)并木町金應秀(四一)平洞韓甚鎬(三五)▲同二十日宛體府洞吳明燮(三七)黃金町二丁目申召史(四六)

●艀船の沈沒

仁川艀船組所有艀船第十八福島丸(二十一噸)は三日午前六時頃高消中の豊榮丸より鐵材を積取る可く同船左舷に繋止作業中起重機にて長十五尺幅三尺の鐵板五本を吊上げんとするや結止方不充分の爲めワイヤロップ外れ五噸餘の鐵板墜落船底に大破損を與へ遂ひに沈沒したるが損害は目下取調中なるも千數百圓に達す可く人命には損傷なかりき(仁川)

●連絡船上陸客 四日午前九時釜山入港新羅丸一二等客 …(以下略、判讀困難)

得左の如し(土川) 大正六年清潔法施行心得 … 五、井戸側、井戸蓋、… 六、便所、…

子供入用
年齢十五六歳高等小學校卒業のもの數名募集す自筆履歴書携帯本人來談保證人二人を要す
京城本町一丁目 株式會社 明治屋京城支店

致富之栞!!進呈
營業所(堂島濱通一丁目)
大阪堂島米穀取引所仲買人
今延商店
電話(北)四六八番 四七〇番 四九六番

謹告
不肖今般宗家急病に付匆々の際一々拜趨致さず加へて出發の際は意外にも御見送りを辱うし衷心より感謝候然るに目下は郷里に歸省鹿兒島縣揖宿郡喜入村に臥龍在候處不日東上今後は芝區三田豊岡町六十番地に永住可仕候間不相變倍舊の御厚誼御願度此段御禮申上候也
大正六年四月五日
永谷隆志
同 政子

眼鏡製作
一般眼鏡製作上所謂殺仕り候付ては從前よりも層一層急速及價格低廉を以て御用命に應じ申す可候間御引立の程願上候
米國製金張玉付
九金細ズル 六、五〇
九金新線ナワ一匁三分八、七〇
十四金同一匁三分八、〇九
十六金同一匁五分 一二、〇〇
二十金同一匁八分 一、五六
廿二金 同二匁 一四、〇〇
十八金緑ナシ玉付 一〇、〇〇
甲 三、五〇 乙 三、〇〇 丙 二、五〇
銀線 一圓卅錢以上二圓五十錢迄
赤銅 八十錢同二圓五十錢迄
赤金次分 二圓五十錢同五圓迄
赤銅金穴明 二圓五十錢六圓五十錢迄
鐵「ニッケル」、硝石用
細物用、緣物用 眼鏡各種
乙玉 六十錢より一圓まで
メニスカス玉 一圓五十錢より三圓迄
クリ山玉 一圓五十錢より二圓五十錢迄
サック十錢以上一圓まで
各地方より御注文の節は代金引替にて直に御送附申上可候
京城本町一丁目(郵便局前)
中村メガネヤ
電話千百十七番 振替京城三四六番

月やく なきにお困りの方は郵券參錢封入左記に御照會あれ妙藥知らす
京城黃金町三丁目 山田しづね

期米
「富之友」週報…南報…進呈
大阪堂島米穀取引所仲買人
丸山亮平商店
電北 一〇二一 一〇五 一〇六 一四

印天 專門 入伴
若宮染工場
京城南大門通三丁目子屋前(京城魚市場隣り)
電話二八五七番

實用英語夜學會新學期開始
!!!會員募集!!!
來る四月十日より每夜(日曜日を除く)外人教師出席教授
會場 旭町二丁目 日本メソヂスト教會構內
事務所 同 三九 藤岡潔方(電話二二五六五番)

京城高等普通學校教諭阪上綱吉先生著
朝鮮諸官廳受驗必讀 法律講義
定價 八十錢 特價 七十五錢 郵税 六錢
本書は各種官廳の採用試驗に應ぜんとする人の爲に各法律を試驗問題の資料として簡明に敍述し直に採つて以て答案となし得べきやう講義したるが著者なるは本書發刊以後に於ける法律の諸試驗問題が本書中に擧げられ居るにても知らるべし之れ本書が共に試驗好準備書たるを得ると相俟つて受驗者に必要缺くべからざる所以なり取て此好著を得んとする人の座右に一本を薦む
賣捌所 京城大平町一丁目 振替京城三〇〇〇番 京城日報代理部

學校用品荷揃
京城本町 シサキ文具店

廣告
清酒本火賣出し 來る四月一日より
拜啓陽春之候各位愈々御隆昌之段慶賀の至りに奉存候却說一月以來古酒賣切致し御得意各位に對し一方ならざる御迷惑相掛け何共申譯之無候處本年度醸造酒も最早本火さして遜色なきに至り候就ては今後一層勉强御高需に應じ可申候間一層倍舊の御愛顧御引立相願度此段稟告仕候也
大正六年三月
清酒 振天。双喜正宗 平生。榮菊
釀造元 發賣元 吉金商店

內科 小兒科 入院隨意
京城府龍山元町
巽野醫院
電話二〇四番

致富之栞…商報…進呈
大阪堂島米穀取引所仲買人
片山政藏商店
多少に拘らず御用命の程奉願上候
堂島濱通一
電話長北六四三 一一〇一 二〇〇 一一〇二

內科 小兒科
京城永樂町二丁目(品商陳列館前)
村上病院
電話六一三番
院長 醫學士 村上龍藏
副院長 熊本醫學士 松下三雄

優等清酒
一鶴
京城永樂町二丁目
發賣元 本莊酒店
電話 六五四番 振替京城五二六〇番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
京城黃金町 電話四二〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

明君道中記

第百六席 田邊南龍口演

徳川家の旗下秋元甚兵衛と云ふ人が頻りに働いて居りまするを見るに、隙のまに〳〵人殺しだ〳〵と云ふ聲が聞こえるから甚兵衛不思議に思ひ 甚『オヤ、可笑な事がある、戰に出て人殺しと云ふ奴もないものだ、誰であるか行つて見て遣らう』と其處へ來て見ると本多彌八郎であるから 甚『その方は彌八郎ではないか』彌『秋元氏でござつたか、無法者に出合つて困り居ります、何うぞお助け下さい』甚『今助けて遣はすから、下から確り押へて居れ』と甚兵衛は槍を取直し、上に跨つて居る上原五郎八を一突に突止め、其首を打落して 甚『彌八郎何んで貴公は先手へ出て來たのだ』彌『出たくもござらんが、功名がなければ口が利けぬから拾ひ首なりとして參れと殿が仰せ據なく出て參つたので』甚『然うか、然らばその首を持つて參るが宜い』彌『此の首を下さるか』甚『俺は外に何程も功名があるから其首は貴公に遣はす』彌『有難く頂戴いたす』甚『然し直ぐ持つて行つては拾ひ首になる故其首を槍先に通して高く差し上げ名乘を上げるのだ』彌『成程』甚『然うすると戰目附の目に止つて功名帳に認めその方の功になる』

彌『それでは名乘を上げる』と彌八郎五郎八の首を槍の先へ刺して高く差し上げ大音にて 彌『ヤア〳〵遠からん者は音にも聞け、近くば寄つて目にも見よ、是は徳川家の旗下黑鬼と云はれたる本多彌八郎が上原五郎八を討取つたり』甚兵衛は呆れて居る 甚『コレ〳〵彌八、敵に組敷れ人殺しだ助けてくれと云ひし者が黑鬼とは何んだ』彌『イヤ鬼の中でも強い鬼もあれば弱い鬼もござらう』甚『弱い鬼があるものか、尋常に名乘るが宜い』と云はれ彌八郎は名乘を上げてその首を持ち踏り御本陣へ罷在る家康公の實見に供へました、すると家康公、此の首を御覧になつて 家『コレ彌八、上原五郎八と申せば敵乍ら聞ねたる勇士である、其方何うして是を討ち取つたか』彌『左様でございます、手前が先手へ出まするど、此の者が參つて手前に向つて參りまするから、名乘りを上げて尋常に打合ひ、一槍の許に突き止めまして、馬より落ちるを取つて押へ首を上げました』と申し上げると傍に居りました若侍が皆な笑ひ出して ○『嘘を申せ、貴様は五郎八の爲に組敷れ、人殺し〳〵と怒鳴つたではないか、處へ秋元甚兵衛が驅け付けて貴様を助けたのだ、その首は甚兵衛から貰つて來たのであらう』と云はれて彌八郎も笑ひ出し 彌『イヤ露顯をしたか、惡い事は出來ないものだ、全くそれに相違ない』○『然うだらうそれを一緒に突き止めたと嘘を吐くは怪からん男だ』と云つた時に家康公はお笑ひなすつて居らせられたが皆なを制し 家『イヤ假令貰ひ首にもせよ今日の戰に彌八郎が首を持つて參るとは目出度い事だ、是は彼の功名につけて遣るやう』彌『ハヽ』家『然し、彌八郎としては此の首が取始めの取納めであらう』と仰せられたが果して此の彌八郎と云ふ人は何處の戰場へ出ても震へて居て敵の首を取るどころではございません、生涯の中に首を取つたのは是限りだと申しますが恐しい弱い人があつたものでございます、戰場へ出ては役に立ちませんが、然し疊の上での思考は偉いものをいたします、疊の上の孔明、智惠正信と云はれた、然し生涯三萬石にて終つたが、その代り悴の上野介正純に野州の宇都宮で十八萬石を下されました故につまり二十一萬石にお取立になつたやうなものでありますが、それを上野介一代にて取潰すと云ふのは亡き父へ對して相濟まぬことでございますが、是も亦筒井術絲とでも申すのでございませう、是より彌々正純が惡事苦心のお話しになりますが、それは次回に……

毛皮なめし並に仕立
鳥獸剝製調進 販賣鳥毛類高價買入れ
萬毛皮 鳥羽毛類 鳥獸剝製標本
京城本町二丁目 樽元商行
電話長二〇六五番 振替京城三四九九番

日本醇良酒 ◎全く防腐劑の入らない 卸小賣 廉價
京城新町 電話九一四 田中酒造場

花柳病 皮膚病
京城府永樂町「商品陳列館」坂上 須古醫院 電話一一〇二番

四月七日 九星
舊閏二月十六日 巳卯
千命 一白 北 廷 大安

[illegible]

娚春草紙
◎藥書で胎名の人へは賈らす候（返信參[illegible]）
和紙の彩色荷拾貳枚入 ▲別に珍本の說冊し發賣品少數 ▲東京芝區三光町 春秋庵 は個人の名義で返事も送品も致ます

演藝案內

大正館 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 電話八七三
△四月六日より提供する新寫眞
○新派悲劇『勇み肌』全三卷
△立花貞二郎一派出演
○軍事大活劇『第六快漢ロロー』
▲米國ユニヴァアサル會社傑作
▲滑稽活劇『ガッスルご難』
○舊劇『山中鹿之助』全四卷
[illegible]

新進女流浪界の横綱
京山愛子孃一行
初日以來連日滿員
御成座 電話一一九一

有樂館 京城本町一丁目 早川演藝部直營
天然色活動寫眞株式會社特約 一手代理店
四月六、七、八、九、四日間名譽大興行
▲世界一の大寫眞！
▲伊太利イタラ會社が世界に誇る作
文藝古典劇『カビリア』全十二卷三萬尺
[illegible]

京城壽町 壽座 電話五七八番
曾我廼家蝶島合同一行
四月五日より第六回替り狂言
第一 結婚會社 一場
第二 人の影 二場
第三 撥ふくさ 二場
第四 廓蓬引 一場
入場料一等七十錢 二等五十錢 三等卅錢 小供廿錢

京城壽町 壽館 電話一〇〇三番
△宿入四月五日（三日目より替り）
塚原小太郎（愛光）、富士之夜嵐（愛民）、五郎正宗（愛奴）、岩見武勇傳（愛助）、大岡三郎誌（京枝）、天下三馬術（巴里）、兒島淨の鍋綿（愛子）
花川戸助六 上講二席
▲入場料一等七十錢 二等五十錢 三等三十錢 子供十五錢但下足代共

るいれき病にて永年苦しむ方も手術せずして淋巴腺大きく壊瘍消散せしめ後尿外に混じて良劑あり 封入郵券二錢に出し救生堂 東京芝高輪北町 ルイレキに詳報す

周易 明治町二丁目 介石堂 河村介石

大懸賞
煙草代用『粹島』文學
▽大募集△
俳句 狂句 川柳 俚謠正調 都々逸 謎々 一口嘶 ラッパ節 サノサ節 磯節 甚句

一 上記各種の中一種又は全部随意澤山投稿を乞ふ事
一 用紙はハガキの事
一 〆切は五月卅日
一 發表は六月下旬
一 賞品送呈は發表後
一 投稿は一切返戻せず
一 發表は當店
一 同文の時は先着の事
一 各種の中最も優秀なるものを第壹等とし以下之に準ず
一 但三等は住所氏名を略し發表す

一 以上各種煙草代用『粹島』の外袋と箱の中に相違の點を必らず讀み込みの事
一 貴方アナタの御近所にある煙草屋さんの家名と所番地を三軒以上調べて正確にお知らせを願ひます
一 代用煙草『粹島』文學募集廣告を御覧になつた新聞の名を必らず御書添への事
注意 以上の規定が一ッでも缺けて居ますと無効

今 回粹島文學第三回募集仕候に付是非御投稿願上候 工場に於て先分入選文學は粹島口紙に包藏準備仕居 々近日發賣可致候

◇賞品◇
壹等 五人 「當選者姓名彫刻」 銀側梨地十七形懷中時計 五個 東京銀座 天賞堂製
二等 拾人 日本橋區日本公園 セル袴 ワタナベ製 拾着
三等 壹百人 特製煙草代用『粹島』拾個入（本二百） 壹箱宛
各位當選文學包藏特別製品 壹百人

日本政府 中華民國政府 登録商標 三種

東京市本所二の橋角 煙草代用『粹島』包藏文學編輯部宛
奮つて御投稿願上候
今 飛ぶ如く賣れる 煙草代用『粹島』 包藏物編輯局

子宮病 血の道 と リウマチス に惱む人は

彼れ是と迷ふ無く 眞に能く効く 神痂湯を

即刻試みよ現に……
烈しき神經痛で惱みし人
頗る難治のリウマチスの人
數年固疾の痂氣で苦しみ人
百法効なき子宮病の婦人
常に悲しむ血の道の婦人
多年惱めるヒステリーの人
不治の慢性胃腸をあきめし人
嬉さの餘り懇篤な禮狀（現在保存一般の閲覽に供す）を寄らるゝ實例も尠からず若不幸にも是等の病に惱む人あらば輕症なりとも此良藥神痂湯の近服で漸次快方に赴き途にはスツカリ快癒し ど難症の論なく即刻試よ神痂湯は家方の良藥にして今や全國各藥店に有り

妹質改良劑

◎こんな徴候の人
胸、腹、手、足、肩、脊、腰、膝、睾丸等つり、腫、しびれ又は筋張痛◎彼處此處と移動し◎何となく怠く◎腹張差込◎腹なり胸つかゑ◎溜飲◎食進ます又は進過ぎ◎便秘又は下痢◎寒氣◎逆上◎血眼◎目暈◎耳鳴◎頭痛◎齒痛◎頭重く肩凝◎腹に力なく◎腰足冷へ◎夜眠られず◎根氣薄らぎ記憶あしく◎氣欝◎癇高ぶり◎物事に感じ易く◎顏手足の浮腫等疝氣、リウマチス、神經痛、胃腸及子宮病、血の道より起る諸患に惱む人は片時も早く神痂湯を試みよ

定價 半週卅五錢◎一週六十錢◎二週一圓十錢◎三週一圓六十錢◎五週二圓五十錢◎十週五圓◎試用分十錢◎卅錢

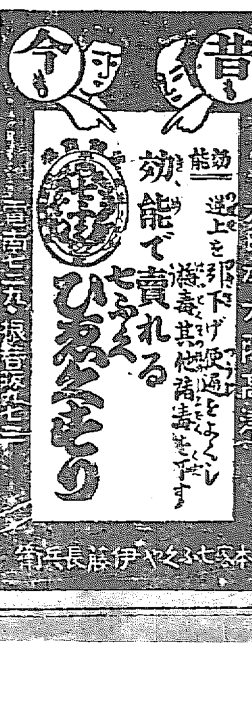
本舖 名古屋市東區京町二丁目 發賣元 荒川長太郎 電話四千百二十七番 振替 東京二一二一西三番 口座 大阪二二九五番

男の生殖器病
生殖器發育不完全で包莖、早漏、遺精、夢精、勃起不全、交接不快、減退減少、腦神經衰弱症等に新案特許眞空療法器を使用する時は一回毎に効力現はれ豫想外の偉効に驚くべく知名博士も其價値を證明し實驗者諸氏の賞讃湧くが如し ハガキで申込あれば圖入說明書を無代贈呈す 來所者には醫院部にて懇切說明す 本器は博士數名の効能確實なる證明を有す
東京神田小川町五 眞空療法研究所 電話神田七二三番

醇良 清酒

仁川本町三丁目 增本酒店 電話一〇九番 振替京城六一九番

米國紐育スタンダードペイント會社製
ラバロイドルーフイング アスファルトフエルト
最上毛製屋根葺用（見本進呈）
京城本町二丁目（電話長四五番、二七七四番）
朝鮮總代理店 釘本藤次郎本店 振替貯金口座京城二五六番



醇良無双清酒

無害衛生 品質無双
釀造元 福岡縣城島町 藤名合會社
發賣元 京城府黄金町二丁目 首藤京城支店 長電話一一七一番
釜山幸町 首藤釜山支店 長電話三四三番

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼 牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、珪酸曹達
京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番 振替口座京城七〇三四番

各種萬年筆即時修繕
京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

★
資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
株式會社百三十銀行京城支店
京城本町壹丁目
電話長五八番 振替貯金京城一一九一三四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候 爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地有之候

京城日報 第三版
四月六日 (夕刊と合せて八頁)

京城日報 朝鮮教育革正論(九)

戊申詔書と實學教育

朝鮮教育に就て、其の緊要なる題目は、固より二三にして止まらん。然れども、往古以來、東洋諸國に通有せる最大病根、就中朝鮮人に通有せる最大病根は、形式的に泥みて實際的ならざるに在り。抽象的に偏して具體的ならざるに在り。空理に耽りて算數的ならざるに在り。浮華文學に溺れて實用の學を講ぜざるに在り。性命を高談して濟生の道に疎なるに在り。今日に當り、其の病根を拔本的に救治し、朝鮮人をして精神的に復活せしむるの道は、實學教育の方針を確定し、朝鮮人の根本的思想を開拓し、根本的精神を陶冶するより急なるは無けん。是れ吾人が首として實學教育、即ち利用厚生の教育方針を確定せんことを反覆切言して止まざる所以也。

苟も朝鮮人にして、實學教育、即ち利用厚生の教育に從ひ、空理空談の弊を去り、力を營生實務に竭すに於て、忠實業に服し、勤儉産を治め、惟れ信、惟れ義、醇厚俗を成すの風、始めて興り、朝鮮の生活狀態を改善するを得べし。苟も朝鮮教育の方針にして確定せず、朝鮮人をして低徊顧望、其の適ふ所を知らざらしめん乎、朝鮮青年、或は不健全なる虛無的思想の空氣に襲はれ、其の前途を誤るに至らんも亦未だ知る可からず。今日の急務は、朝鮮教育の方針を指示し、其の前途に對し、光明を與ふるに在るのみ。吾人が切々偲々、利用厚生の教育を說く所以のもの豈に偶然ならんや。

吾人は謹みて我が明治天皇が帝國臣民に下させ給ひたる戊申詔書を拜讀するに、其中に云へるあり。方今人文日に就り月に將み、東西相倚り、彼此相濟し、以て其の福利を共にす。顧みるに、日進の大勢に伴ひ、文明の惠澤を共にせむとする、固より内、國運の發展に須つ。宜しく上下心を一にし、忠實業に服し、勤儉産を治め、惟れ信惟れ義、醇厚俗を成し、華を去り實に就き、荒怠相誡め、自彊息まざるべし。

忠實業に服し、勤儉産を治むるは、實學教育にあらざれば、其の效果を收むること能はず。惟れ信惟れ義、醇厚俗を成すは、實學教育にあらざれば、其效果を收むること能はず。華を去り實に就き、自彊息まざるは、實學教育にあらざれば、其の效果を收むること能はざる、固より論を俟たず。然らば則ち此詔書は、日本臣民に下されたる詔書なりと雖も、併合後の今日、此詔書の趣旨精神を應用して朝鮮教育の方針を確定し、朝鮮人をして實學教育、即ち利用厚生の教育を受けしめ、實學主義に因りて、其の思想を陶冶し、其の精神を錯鑄するは、是れ豈に戊申詔書の大旨趣を恢弘し奉る所以にあらずして何ぞや。

日米關係

東京一記者

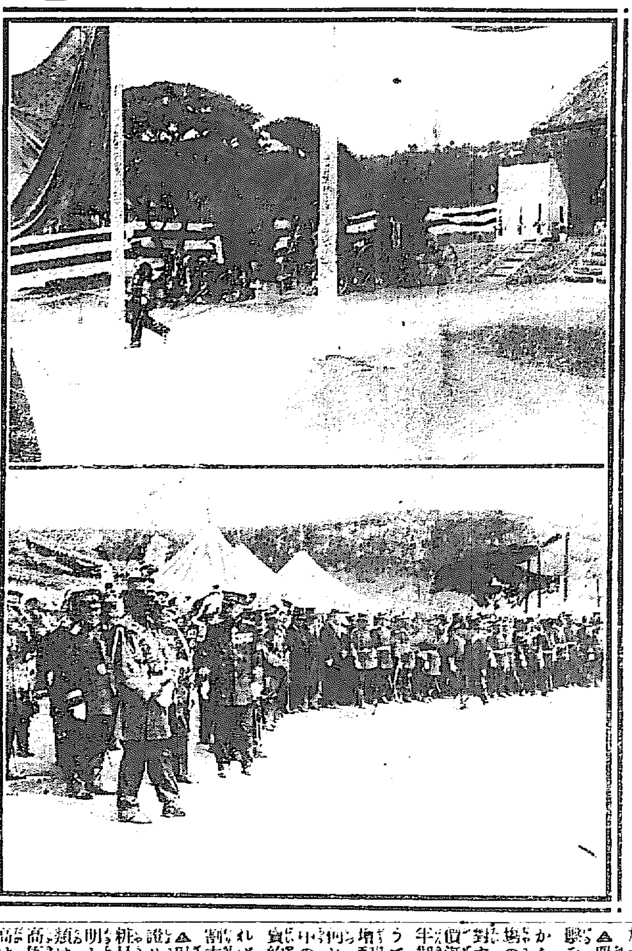
▲近年北米合衆國內に、日本人排斥を唱ふものあるに從て、政治上より排日政策を鼓吹し、亞細亞南洋諸地の事、總て相衝突しつゝあるが如きの言を爲すものあり、東洋所在米國人にして、此種の誤解を懷くものすらこれ有りたれども、最近に至りて米國の人心一轉、曩者排日論に就りたるもの、今は却て其理由なきことを說くに努め、且今日にては、政治家資本家事業家共に、東洋の事に於ては日本と共同し、又は其協調を保たざるべからざるを知り、就中米國東部には、親日熱日に高まり來るの情あり。

▲吾人は固より、米國人の熱度の一高一低に喜憂するものにあらず、然れども東洋の事に就ては、日米間に何等衝突するの理由なく、又兩國相調和し相提携して、初めて福利を全くすべきことを確信し、常に之を力說して已まざるものなり、米國人が曾て排日論に傾きたるは、畢竟何等かの誤解に出るものに相違なく、誤解は何の時か何の機會かに於て、銷散せざるべからずして、今日米國内に親日論の行はるゝは、決して一の流行熱に代るに、他の流行熱を以てしたるものにあらざることを信ぜむと欲するものなり。

▲往年北米合衆國政府が、滿洲鐵道を中立と爲し、列國共同經營の下に移すべしと云ふ提議を試みて、列國を驚かしたるは、今猶人の記憶に新たなる所なれども、彼も一時の事にして、其後米國自身支那の鐵道を支配するの目的を以て、特殊借款を試むること數々なり、且米國政府は支那の政治借款に關して、列國共同事業に於て、内政干涉の嫌ありと稱して、自ら六國借款團體より脫退したれども、最近に及びて、却て自ら進みて團體に復歸することを求め、我日本及び英佛露諸國は喜びて、之を容れたりと傳ふ、而して米國政府が其の借款團體に復歸するに決心したるは、主として我日本と共事を共にするの、趣旨に出でたりと云ふに於て、其情形の存する所亦知り難からざるなり。

▲北米合衆國内に排日熱あるは、主として我日本勞働者の土着勞働者と相競爭するものあるが爲めなりと稱す、然れども、我は最近十年間我勞働者の米國に出稼するを許さず、其の既に移住せるものも亦十萬を出でざるなり、米國は歐羅巴の出稼人を吸收すること百萬人を降らず、而して區々我出稼勞働者を云々するが如きは殆ど理窟の許さざる所なり、況や我より新たに勞働者を移出することなきに於てをや、米國人の排日熱の原因果して此にありとせば、其原因は疾くの昔に除き去られたりと云はざるべからず、且千九百十四年歐洲戰役開始以來、歐洲出稼人の米國に赴くもの大に減少し、若し此の戰役にして更に長引かむか米國は全く歐羅巴勞働者の供給を斷たるべきや言を待たず、且此戰役終結するも、歐羅巴諸交戰國は、戰爭の爲めに壯丁の大多數を失ふべくして、自己の產業を回復するに、必要なる勞力を得るに苦むべく、豈又米國の爲めに出稼人を供給するの餘力あらむや、此事は米國人も亦夙かに憂慮する所たるや論なく、是れ亦米國人をして排日論の甚だ理由なきことを悟らしむるの一大動機たらざるべからず。

◇李埈公葬儀場の長谷川總督



(上)李埈公葬儀式場の門前内にて焼香を了れる長谷川總督(五日午後一時三十分) (下)式場休憩所前に整列して行列を待つゝある文武高官、左端は秋山大將、宇佐美長官、久永外事課長、其他[illegible]

我國民は隨所に活躍せり

南支方面に於ける我國力の發展を喜ぶ

農商工部長官 小原新三氏車中談

南支方面に出張中なりし農商工部長官小原新三氏は既報の如く五日午後五時十分釜山發急行列車にて歸任したり車中訪問の記者に語つて曰く

今回の行、見聞敢て驚きにあらざるも、予の殊に愉快を感ぜしは日本人が事實に於て彼地の隨所に發展しつゝある一事也。予は香港へは立ち寄らざりしも上海より西伯利亞までの旅行中

▲日本人の活動を見ざる地なかりしは最も人意を强うしたり、勿論其の内には無資産者もあれど三井の如き、鈴木の如き將たまた小寺の如き相當の資產家にして彼地に入り込み居れるもの鮮少ならず而かも各種の事業を經營して著々發展の緒を擧げつゝあり、彼の揚子江沿岸の如きは元と英國の勢力範圍なるが航行の汽船に至りては

▲邦人最も優勝の地位に在り又た彼の漢冶萍は既に日本の掌中に歸し、九江陽封間の鐵道亦大倉組に依りて敷設を見むとす、尚ほ貿易に在りても上海は我國第三位を占め、漢口は他に比肩するものなき狀況にして南支一帶に於ける我國力發展は思ひ半に過ぐるものあり、南島は措いて論ぜず南滿洲鐵道の如きに至りては實に

▲大々的成功こ謂ふ可く此の沿線を視察して徐々に[illegible]到せば我帝國は内部に比し其の周圍に於てより以上の發達を示しつゝあるにあらざるかを疑はしむ之れを例せば市街經營に於ても彼地には上水あり下水あり、建築も亦た堂々たるのみならず旅館の如きも數千金を投じてスチームを通せるものあり其の他警察の機關、教育の設備等殆んど

▲間然する處無し、斯くの如くにして推移せば我が内地は其の周圍に比して遂に一籌を輸するに至るの期無きを保せざる可し、之れを要するに我帝國は戰亂の終局後に於ける一大用意なかるべからざるを以て猥りに慢心す可からず、緊褌更に一番を要するものあるは勿論なる

大阪財界だより

近畿 探題

▲金融界の現狀はます〳〵緩慢ならんとする形勢なるに拘はらず其の裏面に於て各銀行は依然として預金率に腐心し、其の結果各銀行は從來保險會社の資金運用の得意なりし地方自治團體並に組合事業等に對して放資するに至り、從來之等各團體に對して勸業銀行並に地方農工銀行等より融通し居れる分も低利借替をなして貸出しつゝある現狀なれば保險會社は今や殆んど放資口を失ひ[illegible]にて貸出さるゝもの皆無となり日本帝國生命が第一銀行と定期預金に六分にて百五十萬圓契約せる如き破格の普通成功と稱せられ昨今保險會社の貸出利率は四分五分の間となれりされば保險業者は今回保險協會内に投資商査機關を設けて共同して低利の貸出をなさんとし目下夫々調査中なれば遠からず具體的成案を得て協同放資の實行を見るべしといふ

▲歐洲開戰以來約二箇年は戰亂の打擊をうけて我紡績業は振はざりしが昨年上半期以來支那市場の景氣回復印度南洋等の新販路に對する輸出激增の爲めに綿絲布の市價漸騰したるより我紡績業の利益は半期毎に增加し事業の新設擴張を追うて增加せるに拘らず尙各會社は配當を重ねる盛況なり昨今各紡績は何れも本年九月頃迄の原料棉を昨年中の安値時代に買込み居り綿絲布の賣約又本年六七月頃迄の分成立し居れば重なる會社は何れも五分九厘一割方の增配をなし得べきか如しと

▲財界好景氣の反映は有ゆる方面に證せられつゝあるも昨今に於ける化粧品の賣行盛なるが如きは最も之を明かにするものなるべし元來化粧品類は其の需要の範圍廣けれども商賣は極めて微々たるものにて之が取引商は多く小商人に限らるゝ觀ありしに最近市內化粧品が景品附賣出を始めたるに御園白粉ミツワ石鹼ライオンクラブ齒磨等にて其取引高約二百萬圓に達したるよしにて六月迄に約定品全部引渡の筈なるが其他各種の石鹼美顏化粧料等を合する時は三百五六十萬圓に上るべきかといふ社會一帶の風潮奢侈に趨きたるに由來すべきも亦財界の影響による所多かるべし

日報詩壇

○春雪(限韻) 古城 梅溪

霏霏白雪作花容。曉色斕斑失舊峰。此爲天公要化育。春田種玉慰三農。

霏霏[illegible]庭松臥玉龍。東風摧得鬱葱葱。道中休謂春回晚。天樹瑞花擁四峰。

評曰 叙景清奇、叙情穩雅、句句如玉屑漫空。

▲①の商內 後場同盟より賣りたる玉數二千餘石に上りたりとの事

▲日先一服乎 新甫發會後大阪の引戻しに連れて一時[illegible]

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢 郵稅一ヶ月金[illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 [illegible] 印刷人 小川二之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版、亞鉛凸版 [illegible] 京城日報社 寫眞製版部

法人及商業登記公告
株式會社三越吳服店取締役中村利器太郎ハ大正六年參月貳拾五日其ノ住所ヲ東京府豐多摩郡中野町大字中野千五百貳拾番地ニ移轉シタリ
右大正六年參月參拾日登記
株式會社十八銀行取締役松田[illegible]ハ大正六年參月貳拾五日死亡シタリ
[illegible]
京城地方法院

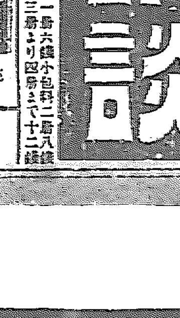
購買入札
大正六年[illegible]
朝鮮總督府

轉居
京城吉野町一丁目(元白川組跡)
高山孝行
電話二六五一番

資本金壹百萬圓
不動產抵當ニテ長期低利ノ貸出致候
株式會社 京城 漢湖農工銀行
支配人 遠山熈
支店 開城、春川、大田、江景、公州
所在地 淸州、忠州、論山、鐵原、鳥致院
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

天井知らずの賣行
長編講談
最新刊
十七版 水戶黄門漫遊記 桃李演
十八版 自來也 石川五右衛門 燕玉演
四六判每册五百餘頁 口繪二葉插畫八十個 正價各三拾錢 郵稅一册六錢小包料二册八錢三册より四册まで十二錢
既刊書目
木下藤吉郞 佐倉宗五郞 文珠九助
赤穗義士 由井正雪 相馬誠忠錄
岩見重太郞 荒木又右衛門 大久保彥左衛門 天下茶屋
伊達騷動 記伊賀屋 五兵衛 加藤淸正
怪談 牡丹燈籠 佐賀の夜櫻 國定忠次
天一坊 塙團右衛門 幡隨院長兵衛 曾呂利新左衛門 [illegible]
東京本京市町 博文館 振替東京二四〇番

內外人の上流社會に喧傳愛賞さるゝ
純國產 牛久赤白葡萄酒
光榮 宮內省御用命の光榮に浴し 同時に 伏見宮 久邇宮 梨本宮 各宮家の御宗庭より御用を仰ぐ光榮に浴す



品質優秀價格低廉なる所以
本品は茨城縣牛久神谷葡萄園に移植せる佛國種優良生葡萄の實より搾取せるまゝの生葡萄酒にして品質最も優秀加之運賃關稅等の諸費は一切不用なる爲め極めて廉價格なる
東京本町 近藤利兵衛

帝國を呪ふ獨逸匿名氏の一大怪著
文學博士 澤柳政太郎先生批評 文學士 長田新先生譯述
發賣 次の世界大戰 一名日本の野心
是れ昨年伯林に於て出版せられ正にベルンハルヂー以後の驚愕を以て歐米諸國に爭ひ讀まれつゝある一大怪著也
誇張妄誕唾ふべき中に、刻下我國民に對する一大警告を含む著者は日本に駐剳せし獨逸外交官なるべく經濟、外交、宗教各方面に亙りて日本の大野心に及び政治、戰爭を起し世界に對する日本の英米露佛蘭將來の政局を論じ結局日本を中傷し日本を孤立無援の地に陷れんとす内容の痛烈なるは卷頭に附する澤柳博士の批評三十頁の大論文を以て論評に讀了すべし日本國民として何人も昂奮なしに讀了する事能はず
四六判三百四十頁 定價八拾錢 郵稅八錢
東京神田 振替一五[illegible] 冨山房賣捌 全國各地書店

○對獨宣戰可決

紐育來電に依れば米國上院は對獨宣戰問題に關する決議案を六對八十二の大多數を以て可決せり之に依り米獨兩國は全く開戰狀態に陷りたるものなり(東京電報)

○聯合國を援助せよ

米國上院に於る外交委員長の演說

華盛頓來電＝上院に於てウヰルソン氏の提唱せる「直に戰時行動を執るべし」との議を贊成せる數氏の演說あり外交委員長ロッヂ氏(共和黨)は國家の危機に際し黨派關係を拋棄せん事を民主、共和兩黨員に訴へ尙米國政府は目下米國諸港に碇泊せる獨逸商船を差押へ獨逸潜航艇の爲め擊沈せられたる米國汽船の代用たらしむべしと切言し更に聯合國は協同の敵と戰ひつゝあり而も其の敵は今や又吾人の敵と成れる以上米國は多大の戰費及び軍需品の供給を爲し聯合國を援助するを當然とすと力說せり(紐育電報)

○英軍アラス南東に勝つ

ヘーグ將軍三日午後發表の公報に曰く、四月二日アラスの南東攻擊の際我軍はヘニンサンユイルの村落を占領し我砲兵隊は第二回の敵の逆襲を擊退し更に南方に於てマイセミーを繫ひロンソイ森林を占領せり(倫敦電報)

○滿洲宗社黨計畫失敗

滿洲宗社黨員等は湯玉麟事件に乘じ彼我聯絡して事を擧げんと計畫せしも失敗に了し黨員等の捕縛さるゝ者多し(奉天特電)

○盲啞學校へ下賜

皇后陛下には五日東京盲啞學校行啓の際大森大夫を經て町田同校々長に對し左の如き御沙汰を傳へさせられたり(東京特電)

金五百圓 奬學資金中へ▲待地一反▲御菓子一折(以上町田校長へ)酒肴料一封(以上職員一同へ)御菓子一包(以上在學生一同へ)

○請願令の公布

去る二十二日樞密院會議に於て無事通過せる請願令は愈々御裁可を經て五日の官報を以て公布せられたるが右は帝國憲法第三十條に依り與へられたる日本臣民の權利たる民意上達の道を開かれたるものなり(東京特電)

○手形交換大會

全國手形交換所組合銀行第十四回大會は四日午後四時より東京銀行倶樂部に開會東京手形交換所委員池田謙三氏を會長とし大正七年度聯合會開催地の件を附議せるに滿場一致を以て東京と決定し終つて同所に懇親會を開き池田謙三氏の挨拶ありて九時半散會せり(東京特電)

○日露商品陳列所

滿鐵會社の計畫

南滿鐵道會社にては日露親善の永久策として兩國の經濟關係を密接ならしむるため今回西伯利亞の大都市に日露商品大陳列所設立の計畫を立て農商務省及び東京府の盡力を仰ぐべく此程森調査課員上京したるが氏は昨今極力市內官民の贊成を求めつゝあり(東京特電)

○交通部員著京

支那交通次長王蔭棠氏一行は五日午後七時三十分東京驛著列車にて入京せり(東京特電)

○初航船積載品

大阪商船會社本年度の初航船濟州丸は雜貨類約四百噸を積載し五日安東縣に入港せるが歸航には豆油豆粕約千三百噸を積載すべしと(安東縣特電)

○中島大佐赴任

新任朝鮮駐箚憲兵隊長中島大佐五日朝下關發新羅丸にて渡鮮赴任の途に就けり(門司特電)

○辭令

五日左の如く辭令あり(東京特電)

任京城女子高等普通學校敎諭(六等) 奈良女子高等師範學校敎諭 田中廣吉

朝鮮總督府臨時土地調査局監査官 日高仙吉

同 樋口重治

文官分限令第三條第一項第十三號に依り本官を免ず(各通)

朝鮮總督府技師 村田素一郎

兼任朝鮮總督府中央試驗所技師(三等)

◎支那減師計畫

支那陸軍は現在八十餘師を有せるが國會は之を五十師に節減し其餘は逐年撤廢の計畫を爲せり現に五年度豫算中五十師の經費を經常費となし其餘三十餘師は之れを臨時費に計算せり(北京)

◎東淸輸送悲觀

目下東淸鐵道は危機に瀕せる露本國食料缺乏を調節する爲め其全力を小麥輸送に傾注しつゝありて其餘の貨物は一切閑却するの有樣なり或は昨年米國に注文せし二千布度積貨車が已に浦鹽に到著し組立中なりとて其前途を樂觀する者あるも該貨車の到著は早くも五月に在る可く然かも其組立は浦港、ニコリスク及び一番川の各東淸工場に於て其全力を投するも猶一日十五輛內外を完成するに過ぎざれば東鐵輸送の回復は當分至難と見るの外なしと(奉天)

◇祭閣前の山縣政務總監と李鍝公子

◎製造煙草の需要狀況

兩切紙卷煙草依然旺盛を極む

大正五年中に於ける製造煙草の生産高及び之が引取高概況は既に本紙所報の通りなるが更に總督府の調査に依る詳況を記さんに鮮地內製造地即ち京城外七箇所指定地の製造高は

一、口付紙卷煙草 八億七千九百五十三萬五千本

二、兩切紙卷煙草 二十九億三千八百三十七萬七千本

合計 卅八億千七百九十一萬二千本

三、刻煙草 二萬九百二十五貫匁

にして之を前年の製造高に比較せば口付卷煙草は一億七千三百十六萬七千本即ち一割六分四厘の減少を示し

▲兩切卷煙草 は七億千百十五萬九千本即ち三割一分九厘の增加にして刻煙草は一萬三千二十貫即ち三割八分四厘の減少を示せり而して之が年別比較を示せば左の如し

煙草製造高年別表

區分	大正三年	大正四年	大正五年
	千本	千本	千本
口付	一、三三五、〇六五	一、〇三二、七〇三	八七九、五三五
兩切	一、八〇一、四〇八	二、二三七、二一八	二、九三八、三七七
葉卷	九	三七	
計	三、一三六、四八二	三、二六九、九五八	三、八一七、九一二
刻	三五、一七一貫	三三、九四八貫	二〇、九二五貫

之に依りて之を觀るに前表步合の示す如く口付卷煙草及び刻煙草は逐年漸減を示し之れに反し兩切卷煙草は著しき增加を示せり、今之が喫煙界に於ける嗜好狀況を見るに依然として兩切煙草全盛を告げ之を口付煙草の最全盛期即ち大正元年の製造高の二、二二七、六五〇千本に比較せば亦三割一分九厘の增加にして倚ほ同年の兩切煙草生産高五九七、二八五千本に比較せば實に驚く可き激增を示し即ち其の增差二、三四一、〇九二千本此の步合

▲實に四十割 の多きに達せり、如斯口付と兩切煙草と各其の位置を轉倒したるのみに止まらず倚ほ漸次增加を示しつゝあるは兩切煙草の喫煙經濟上從來內地人の慣習として口付を嗜好せる者も多數鮮人の兩切嗜好增進に伴ひ其の需要を變遷せしめたるものゝ如し、製造煙草引取に關しては前項指定地八箇所の製造場及び十箇所の藏置場より引取たるものにして之が一箇年の總計を擧ぐれば

煙草製造場引取高

種別	引取數量	同上價額
	千本	圓
口付紙卷煙草	五三三、七六八	[illegible]
兩切紙卷煙草	二、五九七、二〇六	[illegible]
葉卷煙草	[illegible]	[illegible]
計	三、一三一、〇〇〇	[illegible]
刻煙草	一〇、八八八貫	[illegible]

煙草藏置場引取高

種別	引取數量	同上價額
	千本	圓
口付紙卷煙草	[illegible]	[illegible]
兩切紙卷煙草	[illegible]	[illegible]
葉卷煙草	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]
刻煙草	[illegible]	[illegible]

種別	本	圓
口付紙卷煙草	七三三、一五八	一、三二二、三九九
兩切紙卷煙草	二、一四六、四三五	三、七四六、四二四
葉卷煙草	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]
刻煙草	[illegible]	[illegible]

而して之を前年の引取

▲數量及び價額 に比較せば口付に於て數量三三八、五三六千本步合三割一分五厘の減少を示し價額五九〇、一六二圓步合三割一分を減じ兩切に於て數量六五八、五〇五千本步合三割一分二厘の增加にして價額九五、五五八圓步合二割三分九厘の增加を告げたり亦葉卷に於ては五年の製造僅かに三百五十本にして價額九圓に過ぎざれば殆ど比較の價値なきも刻煙草に於ては數量一三、九五一貫步合四割一分五厘の減少にして價額八一、四二五圓三割四分五厘の減退を告げたり刻煙草は其の數量價額共年を逐うて漸次減少を見兩切煙草のみ增進步合を見るに至れるは需要變遷に伴ふ結果に外ならずと雖も翻て之を既往口付煙草の全盛期に比較せば數量に於て五五六、五四二千本價額に於て七七八、〇九一圓の增加を示し倚ほ其の兩切煙草の引取高に比較せば數量に於て二、一六七、一五三千本價額に於て二、五四二、八一四圓の激增を呈するの狀況に在り

◎露都最近物價

最近露都よりの歸朝者の談をきくに諸物價騰貴は相像以上にして革命當時三月二十日頃に於ける二三物價を記せば玉子一箇十五錢ボートワイン四合入一本十五圓、葉卷二本十圓、砂糖一ポンド九十錢カラー一本一圓二十錢ネキタイ並品一本七圓五十錢兵卒用靴下一足一圓二十錢男子深ゴム靴一足七十圓セビロ服普通一著冬物二百圓婦人用外套一著七百圓より九百圓等なりと又パンは革命當時迄は白パンは一片もなく漸く黑パンにて飢を凌ぐ狀態なりと因に勞働者の日給最低五圓職工月俸三百圓內外ホテルボーイ月給は百五十圓なりと(平壤)

◎平壤耐火煉瓦製造

平壤に於て多年煉瓦製造に從事しつゝある京谷義造氏と鎭南浦中村組との協同事業たる耐火煉瓦の製造に就ては既に報道する處ありたるが發動機購入のため上坂中なりし京谷氏は同地に於て五十馬力吸入式ガスエンヂンを買入れ汽船に託送して去る一日歸壤したるが發動機の到著と共に該器の据付け工事に著手し來る六月上旬には煉瓦製造の運びに至るべしと因に工場候補地として設立者側に於て二箇所を選定せるも土壤の買入れに重大の關係を有するため今日の處にては口を緘して語らず(平壤)

高麗丸船中偶吟　蘇峯生

不恨中都背花去。春波似酒艇如詩。人間多少閑妄想。附與瀛風自在吹。

◎補助貨依然不足

最近調査に係る朝鮮內流通の本位貨並に補助貨の總額は七百十八萬六千圓にして之れを前年の略ぼ同期に比すれば約七十萬圓の增加を示し居れど一方補助貨流通額の追隨すべき銀行券は約一千萬圓の增發を示し居るに付尙ほ若干の補助貨不足は免れ難きものゝ如し

◎三月鐵道收入

三月分鐵道收入成績左の如し

	本年度	前年度比較增減
乘車人員	五五五、一三五人	九五、八二〇
小手荷物斤量	一、一六六、三一〇	三九、〇三六
貨物斤數	一八〇、〇〇〇	三八、三五〇
客車收入	四三三、九六八	七三、一四七
貨車收入	二〇三、三五五	二五、一〇一
運輸收入	六九五、三二三	一四四、七四八
一日一哩平均收入	三八圓〇〇	五圓七〇

◎三月移出金塊高

本年三月中の平壤稅關扱の移出金塊高は十萬三千四百圓にして昨年同期の二十四萬九千二百圓に對比すれば十四萬五千八百圓の激減なるが這は氣候の影響に基く作業上の關係に依るなるべきか(平壤)

◎小原長官歸任

支那滿洲方面視察の歸途元山に滯在中なりし農商工部長官小原新三氏は小田局長を從へ既記の如く五日午後五時十分南大門驛著歸任せり同驛には農商工部高等官其の他官民有志數十名の出迎へありたり

◎山形少將出發期

前警務總監部高等警察課長山形少將の歸東期は來る十二日午前八時三十分南大門發釜山に赴き其れより東萊溫泉に一泊翌十三日午後六時釜山出港の陸軍御用船にて神戶に赴き同地より鐵路東上すべく家族同伴なりと

◎三宅博士入京

人參に關する調査の爲め來鮮中の總督府囑託理學博士三宅驥一郎氏は開城に出張中の處五日入京北門內淸雲洞なる愛吾廬に入れり

人事消息

▲林田辰八郎氏(日本郵船京城出張所長) 五日來

出張赴任

▲田中李王職事務官 同日附を以て東京出張を命ぜられ近日東上の筈

▲福岡滋次郎氏(平壤地方法院檢事局書記課檢事) 五日夜入京不知火へ

▲岸川忠見氏(千代田艦軍醫長)▲北島香苗氏(同艦副少佐)▲河村辰雄氏(海軍大尉)▲丹下薰二氏(同)▲阪片身氏(海軍少尉) 同上巴城館へ

▲大田猪十二氏(貿易商) 五日夜退京

▲副島村八氏(海軍少佐) 同上

▲菅野盛次郎氏(東亞煙草會社長) 五日朝退京

南言北語

▲福原前文部次官は例の古色蒼然たる高帽子を被りチョイ〳〵文部省へやつて來る▲處が大臣や次官の處へは行かず大概新聞記者室へ這入り込んで談論に花を吹かせて居る▲何故に役所へ來るかと聞くと何處へも遊びに行く處が無いから矢張り元の古巢が戀しいから來るは何處迄も福原式を發揮して居て面白い▲文部省と云へば乘杉督學官は未だ萬年筆を持た事がない▲今度洋行するに付て初めてオノト萬年筆を買つて來たがインキの入れ方が分からない▲先生大に弱つて屬官や給仕を捉へて君々インキを入れる事を敎へて吳れ給へ▲乘杉君に付ては思ひ出す事がある嘗て君の兩親が遙々鄕里の富山から東京へ物見にやつて來たので停車場まで出迎へると▲兩親は三等車內で何やら頻に尋ねて居るので乘杉君も不審して理由を聞くと▲實はお母さんの藥鑵頭から付髷が落ちたので其れを探してるのだと判明した▲漸く探し出したお母さんは之を頭に乘せて何喰はぬ顏をしてプラットフォームを步き出す▲後から見ると其の付髷が逆についてゐるので人々が吹き出した▲流石のお母さんも體裁が惡かつたと見へ初めて遣ふ嫁の手前少しは見好い樣にと思つてやつて來たが勝手が分らぬので此の有樣だとの申譯▲成る程此兒にして此母ありだ乘杉君が洋行土産には大分珍族が來るのだらうと友人達は今から樂んで待つて居る相な

陸軍少將山形閑君過般退職の上不日歸鄕可相成候に付左記方法に依り送別會相催度候間御贊成被下度得貴意候也

左記

日時 四月九日 午後六時半

會場 朝鮮ホテル

會費 金四圓 當日御持參の事 (內一部を記念品に充つ)

大正六年四月五日

發起人 (イロハ順)

原田金之祐 萩谷籌夫 白完赫 子爵趙重應 趙鎭泰 岡本桂次郎 岡本 功 荻田悅造 岡 正矣 川上常郎 金谷 充 高野省三 子爵宋秉畯 具然壽 隈部親信 草場林五郎 山口太兵衞 馬詰次男 小城 齊 國分象太郎 阿部充家 三島太郎 白水 淡 鈴木 穆

追て來る八日正午迄に憲兵隊司令部(電話一七番)へ御申込被下度候

最新刊

書名	著者	定價
死の謎に	信濃忠太郎	一、八〇
磁氣と物質	本多光太郎	一、八〇
債權者の法律顧問 (法律判例參照實例引用)	森健榮	特一、八〇
朝鮮の金鑛	町田	一、〇〇
大正六年 最近朝鮮事情要覽	總督府	六五
英語活用自在		一、五〇
資金周循學	經濟調査會編	一、〇〇
啓發錄	加藤	一、〇〇
模範作文講話	大町	一、三〇
最新植物生理學提要	白井光太郎	一、五〇
誤り易き漢字の讀み方と正しき用字法	久保天隨	六五
富の礎	安田善次郎	一、〇〇
獅子吼	石川半山	一、三〇
洋樂夜話	太田黑元雄	一、〇〇
實務の人	芥川	一、〇〇
大正六年 鑛區一覽	總督府編	四〇
ペン商業式習字帖	吉成翁外	三〇
江戶一代女	林和	七〇
ペン數字練習帖	大阪屋號編	一〇

大阪屋號書店 京城本町一 電話六〇二 大阪振替二五七三番

太陽ゴム商會 好職業

謝近火御見舞 京城本町三丁目 質商 八木幸治郎

謝近火御見舞 京城本町三丁目 市川時計店 電話一一〇五番

昨夜近火の際は早速御馳付御見舞被下候段奉謝候混雜中御禮申上可き筈の處御芳名伺洩も難計以紙上御禮申上候 京城本町三丁目 榮城館 電話一八三二番

謝近火御見舞 京城永樂町二丁目 富の壽 發賣元 菊世界 富安 京城支店 電話一〇三九番

京日案內 普通五十錢 番外一圓

●男女內外務員至急募集 明治町二丁目唐川吳服店横丁 大日本信託會社取扱所 921

●店員二名入用 但し十七八歲の男子 三角地 瀧井西店 923

●店員一名弟子一名入用 但十五歲以上十八歲迄の男本人來談 龍山鐵道構內 馮慶堂菓子舖 922

●看護婦及見習募集 志望者は履歷書持參入來談あれ但電話書面の照會謝絕 明治町二丁目 中央婦人病院 924

●集金人一名募集 年齡廿八歲以上身元保證人二名要す希望者本人來談あれ シンガーミシン會社龍山分店 909

●下宿屋讓渡したし 市內目拔の場所格安にて讓渡す希望の方は至急來談ありたし(姓名在社)

●店員入用 十四五歲小學卒業程度 市內に要保證人 明治町二丁目 宇治 914

●看護婦至急募集 希望の者は履歷書携帶來談あれ 京城本町一丁目四十五 山田醫院

●看護婦三名入用 希望の者は履歷書携帶來談あれ 仁川 小倉病院 795

●有給女事務員入用 確實の證人を要す自筆履歷書携帶來談あれ 長谷川町 鮮滿工業社 798

移轉 犬島新作 黃金町三ノ三〇二番地 (若草町曹洞宗別院向側裏通) 電話九八九番 918

女子外勤社員募集 債券高價買入 勸業貯蓄支部 京城太平通二丁目 電話二八三一 917

碁會 林憲治昇段披露會 八日於壽町有明樓 會費金壹圓五十錢 賞品一等二十圓商品券二等銀側懷中時計其他 申込前日正午迄 920

碁會 林憲治昇段披露會 八日於壽町有明樓 會費金壹圓五十錢 賞品一等二十圓商品券二等銀側懷中時計其他 申込前日正午迄 919

店員入用 十三以上十六歲迄 五名體健市內に保證人を要す本年學校卒業の者履歷書携帶來談あれ 電三九五 輸出入雜貨砂糖商 大門通二 陸商會 784

移轉 ▲山田流琴曲教授 園田松葉 京城本町一丁目釘本金物店前横町右側一軒目 779

三先流生花會 四月六日開催縱覽隨意 本町二丁目龜屋辻南へ 金治齊橫井社中 915

本町通讓店 老舗居拔の儘場所簡易にして確實有利なる爲至急賣渡したし 電話付(姓名在社) 90

讓店 市內一等場所 食料雜貨店老舗目下盛業中有妻の儘格安に讓渡す御希望の御方は至急來談ありたし(姓名在社) 108

新古ミシン賣買 並に修繕 ●針油部分品販賣 京城鍾路パゴダ公園近 電話二三八三 667

間合自働車 賃金片道四圓 京城發前八時 春川發前八時 京城南大門通り 春川自働車商會 支配人 松田壽明 電話二三八番 761

多利 ゴム風船賣月サック御注文 小賣は三倍以上五倍利す 當店特色は薄利多賣定價表無料送 京城太平通二 太陽ゴム商會 電話二六〇六番 760

年金 恩給 退隱料 多少不問高價買入 即時立替 證書保管 京城吉野町一丁目 並木鉛 電車停留場約一丁半上ル 俵屋 714

●暴風警報 (四月五日午後三時三十分發) ▲警報 低氣壓北[illegible]

◎元山 ▲最近內地人戶口 [illegible]

…を見るに總中長官賜の二百七十…なれば相當の數量を取纏め得らるゝ…六月を首位とし山口縣の一百五廿六に於ては輸移出品として有望なるべく…今や之れが取聞始期の迫れるに際し江原道…岸の如き元山より出漁したる…

今回京城地方法院に轉勤を命ぜられたる元山支廳判事三田村平太郎氏の…るモデザア會は…事神崎署長三氏の送別を兼ね四日午…樹を行へり▲…山梁察署長歸本警視は七日前任地城…新任元…名内現役志願者…四十九名第一乙種三名第二乙種丸名丙種四十一名丁種二名戊種一名なるが…行せるが五日午前九時より本年度徵兵學…

◎莊嚴なる埋棺式

古式に由る邪鬼儺ひの舞踊

孔德里に於ける李埈公御埋葬場にては午後二時祭儀を終り同三十分揚州郡守…より

◆同墓中に改葬 さるべき殿下の先夫人南陽洪氏贈貞敬夫人の遺骨を納めたる柩を葬内の右側に納め次で殿下の柩を祭閣より再び大轝に移して塚上に登り柩を轆轤にて繰り下し奠主…の幣帛を墓中に納め洪氏の墓中には陶製の墓誌を納め

◆外廓の蓋を蔽ひ石灰、粘土にて其の上を塗る此の間大いなる鬼面を著けたる方相氏は左右より墓所を廻り古式に由る邪鬼儺ひの舞踊を爲し並にて全く埋棺を終り 天皇…

♣靈柩擧上に進む 午後三時四十分李埈公殿下の靈柩は…側より再び大轝に移され徐々に墓所の丘上に…の兩側に…ぶ間を…は挽歌の聲につれて徐々に進行す靈柩は丘上の祭屋内に入り殿下の先夫人貞敬夫人も此の日改めて合葬されたり

◆御下賜の榊鉢 等神式に由る 皇后陛下御下賜の榊及び各宮殿下寺内總理大臣長谷川總督より贈られたる榊は墓所の左方に植付けたる祭具は悉く燒棄し午後四時三十分全く埋棺式を終へ立主奠を行ひ五時三十分同所を發して返虞式の爲め遙か六倚義洞所定の返虞式場に入れり

◎李埈公返虞式

滯なく終了

孔德里に於て御葬儀終了西大門外義洞に引揚げられたる故李埈公の祠前に…饌及び祭具は…て幔幕を張り廻して設られある式場内に安置され極て靜肅裡に返虞式は滯なく執行されたり

◎御眞影奉安室の菊花御紋章

撤廢方命ぜらる

此の程大阪市内二十八小學校の御眞影奉安室に於ける扉、幔幕等の菊花御紋を撤廢方命ぜられたり(大阪特電)

◎豫備少尉鮮人を傷く

全北全州郡參禮面參禮里居住參禮學校組合議員豫備陸軍步兵少尉正八位萩田德太郎(三二)は三月二十四日同里米商馬學鎭方より白米を買ひ學鎭の弟馬敬學(二二)が同日午後六時頃代金催促の爲め萩田方に赴きたる際敬學が無禮なる言を吐きたりとて萩田は敬學の胸部を突き足にて蹴倒し尚同家傭人石津滿八は敬學を毆打し治療一週間を要する創傷を負はせたる爲め萩田は敬學に告訴せられ三月三十一日全州署に召喚されて取調べを受けたり

◎山中に立籠つて銀貨を僞造す

主謀者及び共犯者悉く逮捕さる

客月二十五日の夕刻平壤府衙廳里煙草商梁享杜(五二)方に一人の鮮人入り來りウエルス一個を買ひ五十錢銀貨にて支拂ひ四十七錢五厘の釣錢を受取り立去りたり然るに廿九日の夕方

▼再び其鮮人は 梁享杜方に來りて又五十錢銀貨を出してウエルス一個を買はんとせしに梁享杜は前回受取りたる五十錢銀貨が疑はしき點ありたるより其鮮人に對し質問し居る際附近の住民がバラバラと集り來りたれば該鮮人は其場を逃げ去りたり平壤憲兵分隊筆居刑事は

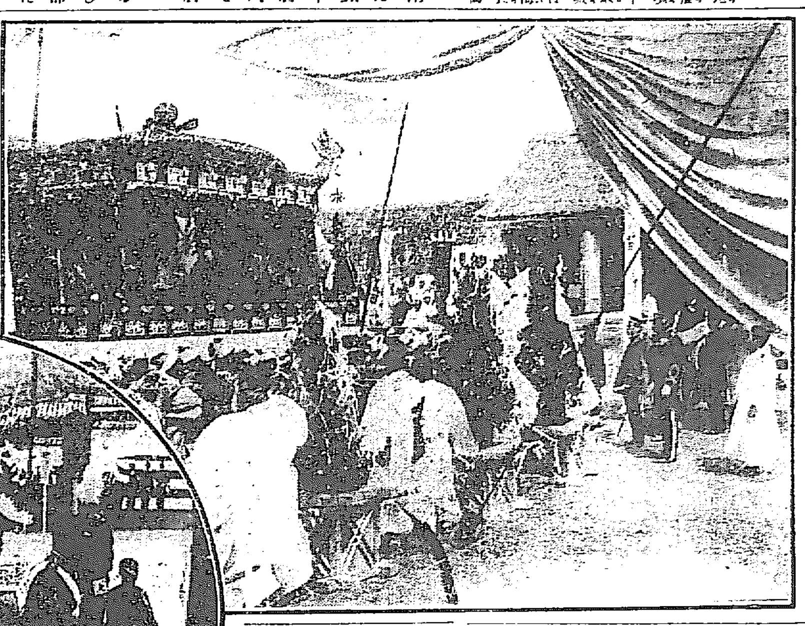
▼此事を聞込み 必定僞貨行使犯人の入込めるならんと目星を付け偵察捜査中の處該犯人は府内南門町附近に徘徊し居…田房李一済方に出入し居れることを探知し三十一日夜其犯人の一人を憲兵分隊に同行し取調べたるところ主謀者は平南…(三四)なるものにして共犯者は…京畿(二二)…(二二)にして河長玉…等に對し僞造貨を

▼行使すべき事 を命じ鎮南浦及び平壤に於て十數圓を使用したるが河長玉の所持したる僞造貨は五十錢銀貨と二十錢銀貨と合せて八十圓にして甑田里の李一済方に隱れ居れる旨自白したれば四月二日午前八時李一済方に赴き直に室内に入りて調べたるに長玉は温突室内に臥し居りたるより直に逮捕し

▼僞造貨の所在 を尋ねたるところ知らぬ存ぜぬの一點張なりしかば憲兵補助員を指揮して屋内全部に亘りて嚴密なる家宅搜索を爲したるに便所の中より七十圓の僞造貨發見したれば直に長玉を分隊に拘引せり尚僞造したる場所は黃海道松禾郡面名不詳石串里の山中にして鉛と錫とを以て鑄造せし旨を自白したり尚憲兵分隊に於ては引續き取調中なるが二日午前十一時までには共犯人全部逮捕したりと云ふ

◎強盜が脅喝罪

忠南天安郡笠場面笠場里生れの卞德汝(三〇)は本年一月十五日夕刻牙山郡屯浦面喜有里洒幕李萬胤方にて飮酒中來合はせたる金撤照なるものを捕へ自分は屯浦憲兵出張所の憲兵補助員たるが汝は強盜を働きたる嫌疑者なるを以て憲兵所に引致すと毆打脅迫したる上撤照の所持金二圓五十錢及び外套一點を強奪したる一件は強盜罪として公州地方法院に於て懲役十年の判決を受けしが同人は之れを不服とし京城覆審法院に控訴し審理の結果前判決を取消し恐喝罪として懲役二年の處分となる



♣式場に於ける靈轝と喪主 (上靈轝を將に祭閣に移さんとせる所(下)式場に於ける喪主李鍝公なり)

ところ御轜は 天皇陛下御下賜のものなり(五日午後…時廿分)…使、…宮御使、…使の御…席、最右端は…李鍝公第二公子なり

◎老母を乘せて飛行せん

スミス氏の出發

桑港來電に依れば鳥人スミス氏は三日老母を伴ひて日本に向ひたるが到着の上は老母を搭乘せしめて飛行すべしと(大阪特電)

◎兇賊死刑執行

江原道平昌郡大和面生の金根培(三二)は去る明治四十四年中慶北奉化郡に入込み暴徒の首魁千秀和の部下となり奉化郡小川面長を銃殺したるを手初めに近郡各地を廻り強盜殺人放火等あらゆる惡事を働き居たるが其筋の手に捕へられ大邱地方法院にて死刑を宣告されしも服罪せず大邱覆審法院に控訴して棄却され更に高等法院に上告せしが是れ亦棄却となり大邱監獄に囚はれ居りしが二十九日午後三時死刑を執行され十五分間にて絕命したりと

◎晝間送電停止

京城電氣株式會社にては電線路工事の爲め來る十五日(日曜日)午前六時三十分より同十一時迄晝間電力の送電を停止する由

◎永樂町の宵火事

赤門寫眞館燒失

五日午後九時十五分頃城永樂町二丁目五十八番地赤門寫眞館事上田次郎吉方より出火直に常備消防隊、總督府消防隊、本町警察署員現場に驅け付け消防に盡力したる結果約二十分の後僅かに同家を全燒したるのみにて鎭火したるが附近には金光教、救世軍說教所等あり恰も說教中なりしより一時は混雜を呈せしも人畜には何等の被害なかりき損害高は家屋五百圓衣類雜品四百圓合計約九百圓の見込にて原因は目下取調中なり

◎北海畫伯來る

日本畫界の泰斗高島北海氏は今般彩管を携へて朝鮮漫遊の途に上り五日夜入京巴城館に投せるが日ならずして金剛山寫生旅行を試む可しとの事なり金剛山は素より氏の畫風に應はしく殊に彼の山骨の如きは氏獨特の畫筆を發揮するに充分なる可しと期待せらる

文藝古典劇 カビリア

世界一の大寫眞! 百萬圓の價値! △伊太利イタラ會社が世界に誇る△文豪ダンヌンチオ氏大著作

全十二卷、三萬呎

いよいよ四月六日より四日間限り

有樂館に公開す!!

◎池田遞信局長官寄附 五日は池田遞信局長官母堂の五七日に相當するため香資の意味に於て朝鮮總督府濟生院、東京市養育院及び濟生會に相當金員を寄附したりと

◎妙心寺接心中止 毎月五日より九日まで修行さるゝ妙心寺接心は後藤老師病臥中につき中止。

えんげい

▲雲の二代目 雲入道死亡後同人生前中前川にて…たる門弟の…雲右衞門を襲名せしめたるが當地には前年雲右衞門興行の契約ありしを以て四月下旬二代目雲右衞門を渡鮮せしむる事となれる旨通知し來れり

▲大正館 六日より全部新寫眞と差替ふべくその寫眞は左の如し △…冒險の…製造の實況△新派悲劇勇み肌全二卷△…カツスルと鰈二卷四千呎△…新派劇快漢ローム△…劇川中島之助

▲壽座 曾我廼家綠郞會一行にて六日夜の狂言は……會社二幕、人の影三場、撲ふくさ二場、…喜劇…

▲御成座 新派劇…一行にて見殺し全…

▲壽館 女浪花節京山愛子一座にて愛子の語り物は村松三太夫、花川戶助六…二席なり

▲浪花館 東京大阪合併落語笑福亭…一座にて大切には當劇松竹梅等あり

▲有樂館 例の世界的大名畫「カビリア」にて正午及び午後六時より晝夜二回開館本紙讀者にして優待割引券持參の人は各等共半額にて何分十二卷の大寫眞につき定刻開館の由

▲黃金館 浪花節中西可氏の手にて來る十日より開館の筈なるが開館當日には各方面に對して多數の招待狀を發すべきも之れに對する祝儀物等は絕對に受けざる由

謹近火御見舞 京城本町三丁目 朝鮮商業銀行本町支店

謹近火御見舞 請負業提燈商 京城本町三丁目 三根甚吉

謹近火御見舞 末廣正宗 滿鮮發賣元 京城永樂町二丁目 新居酒店 電話一千六百三番

謹近火御見舞 齒科醫ドクトル 京城本町三丁目 中村安子 電話一五八三番

謹近火御見舞 食料雜貨商 京城本町三丁目 森川商店 電話九三五番

謹近火御見舞 京城壽町三丁目 松金 電話六八六番

謹近火御見舞 京城永樂町二丁目 サヌキ屋 電話一八六七番

謹近火御見舞 京城本町三丁目 丸久精肉店 電話二二五〇番

謹近火御見舞 京城本町二丁目 大塚覺藏商店 電話一六二番

謹近火御見舞 産婆 京城本町三丁目五番地 松本千代

謹近火御見舞 食料雜貨商 京城本町三丁目 下川益一商店 電話四九七番

謹近火御見舞 京城本町三丁目電話二二五七番 丸一漆器店 青木卯助

謹近火御見舞 貿易商 京城本町三丁目 藤富國太郎 電話三〇八番

謹近火御見舞 産婆 京城永樂町二丁目電一三一六番 濱崎達子

昨夜近火の際は早速御馳付御見舞被下奉深謝候實は一々拜趨御禮申上可く筈の處混雜中御尊名伺洩も難計乍略儀以紙上御禮申上候 京城永樂町二丁目電一一九六番 京染呉服商たまや京城出張店

謹近火御見舞 京城永樂町二丁目 後藤秀庵

謹近火御見舞 京城永樂町二丁目 菊園茶舖 電話一三四二番

謹近火御見舞 高砂餠 京城本町三丁目 西村秀次郎 電話二六九五番

謹近火御見舞 藥種貿易商 京城本町三丁目 北島京城支店 電話七六一番

謹近火御見舞 建築材料商 京城永樂町二丁目 德田商會 電話二三二五番

近火御見舞御禮 石塚英藏留守宅

謹近火御見舞 竹屋口入業 京城本町三丁目五番地 武内利吉

昨夜近火の際は早速御馳付御見舞を辱ふし奉深謝候一々拜趨御禮可申筈の處混雜中御尊名伺洩も難計乍略儀以紙上御禮申上候 合名會社橋本商會京城出張所 自轉車附屬品卸商 京城永樂町二丁目電一五七九番

謹近火御見舞 貿易商 京城永樂町二丁目 馬場商店

謹近火御見舞 土木建築請負業 諸金物其他諸材料 京城永樂町二丁目 細見傳次郎 電話一〇七七番

謹近火御見舞 京城永樂町二丁目 大葬社

謹近火御見舞 京城本町三丁目角 岩野呉服店 電話一八八番

謹近火御見舞 京城本町三丁目 岡本組車帳塲 電話二六八九番

昨夜近火の際は早速御馳付御見舞を蒙り奉深謝候一々拜趨御禮申上可筈の處混雜中尊名伺洩も難計乍略儀以紙上御禮申上候 電氣並屋外廣告業 京城本町三丁目 木村治人 電一三六四番

怒濤の月

百二十七　小林蹴月作　武内桂舟畫

婚の輝き『廿四』の四

『うむ、絹代さんッて言ふんだッたな。何か御前の御寵愛だとか云ふんで、一同が掌へ上げて大切にして居たのは、確かに此の姉さんだッたよ。もしッ、お前さんは、絹代さんッて云ふ名前なんでせう？。』

親方は、絹代の耳に口を差付けて尋ね問ふのであつた。

絹代は、我が名前を呼びかけられたので、いやが上にも驚き呆るゝの外なかつた。

『然う仰有る貴方々は、ど、ッ、什うして妾の名を御存じなんで御座います。』

『什うしてッてお前さん、俺は入谷の八太郎と云つて、花泉のお屋敷へは、先殿様のお健康な頃から、庭の手入れに上つてる植木師なんですよ。論より證據は、俺の被て居る此の袢纏でも、野郎のでも御覧なせえやし、此の通り、襟には花泉家と白く染め抜いてあるぢや御座ゐやせんか。まあ、そんな事は、何うでも後の詮議として、田甫中ぢや寒くて仕様がねえから、俺の家までお入來なせえまし。おい、三吉、絹代さんは何だか、脚の工合がわりいやうだから、手前手を引いてッて進げねえ。』

『……まあ、お待ちなすッて下さいませ、……貴方々の御親切は、有がたう御座いますけれども、花泉家へは歸る事の能ない妾の身體なんで御座いますから……。』

絹代は、助けらるべき人もあらうに、花泉家へ出入りの植木屋主従と聞いたので、又一ツ新なる恐怖と胸苦しさとを感ぜずには居られなかつたのである。彼女は、主従から急き立てらるゝにも拘はらず、容易に起ち上らうとさへ爲ず、躊躇ひ逡巡つて居た。

『さて／＼、そんな氣の狹い事を言ひなさるもんぢやねえこつさ。お屋敷の御前は、彼の怖らしい顔面に似合はず、下々には莫迦げて優しい殿様なんだから、お前さんの身に假しやどんな過失があつたかも知らねえけれども、此の八太郎が兩手を支いてお詫びを申上げりや、乾度聞き入れて下さるに極つてるんだ。それは先づそれとしても、こんな所に何時までも縮だまつて居た日には、凍え死に死ぬより外はねえんだから、何は兎もあれ、俺の家まで歩きなさるが好い。』

『親方さん、お言葉では御座いますが、妾は、寧そ凍え死に死んだ方が優しで御座います。何卒……情賜後生で御座いますから、妾の此處に倒れて居りました事を御存じなしに通り過ぎてお了ひになつたものと思召して……妾は此の儘……。』

夢ともなく現ともなく、不思議の女に導かれて、怒濤の底の龍宮とやらへ飛び込んだやうに思ひ做して居た絹代は、正氣付いた今になつてから反つて、それを現實に決行するのが早手廻しであると思つた。左も右ても、思ふ事の百分一だも自由ならぬ浮世に、半歳や一年長く居た所で、益々苦悶の種を殖やすのみである。寧ろ八太郎主従の手から突き放して貰ふに如くはないと考へたのである。

『あッは、は、は、お前さんがそれ迄に言ひなさるには、何れ一方ならねえ事情のある事ぢやあらうが、何處の何者とも知らねえ前ならまだしもの事、斯うして名前まで分つて見た日になつて見ると、大恩を受けて居るお屋敷の御前に對して見す／＼お前さんを見捨てゝ行く譯にや行きや爲ねえよ。あゝ、寒いのはお前さんばかりぢやねえ、火事見舞の先で御馳走になつて來た酒が醒め際になつたので、齒の根までがガタ／＼顫へ出して來た始末だ。さッ、世話を燒かせねえで、早く爲て下せえ。』

八太郎は、云ふまでもなく親切氣から出た江戸ッ子氣質である。事情と理由とに關はず、三吉と諸共絹代を扶けて、無理往生に入谷の我家へ連れ歸つたのであるが、こんな事の爲めに、時間は思ひの外過ぎて了つて、遠近の伏屋に曉を告ぐる鷄の聲が、蒼蝿いほど聞かれた。

『まあ、お前さん、火事は三年も昔に消えて居るのに、三吉を連れて何處を彷徨ついてたんですね。』

中ッ腹の女房が、がらり内から戸を開くや否、年若い絹代の姿に逸早くも眼を付けたので、頭ごなしに嚙み付くやうな大聲！

西洋料理『電氣すき燒』ハイカラ丼　おいしい京城第一との高評を博し居り候　南大門通　電話二五七一番　カフエータイガー

皮膚科　入院隨意（診察夜九時迄）　皮膚病　黴毒　淋病　膀胱　生殖器　機能障碍　日曜祭日午後二時迄　京城明治町二丁目（同電車通り）　佐藤醫院　（電話一一七三番）

木村屋賣り出し　人蔘入りのドロップ買ひましよおみやげに　（京城明治町　電二八七〇）

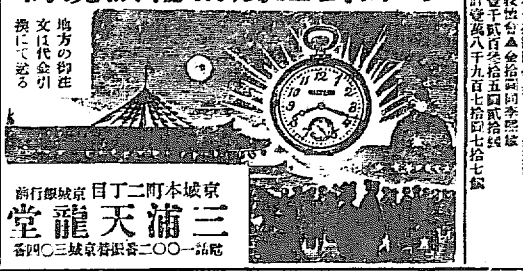
新刊紹介

▲才媛文壇（創刊號）　十五錢東京牛込神樂町一の一東亞堂
▲青年雄辯（學校選抜號）　三十三錢東京牛込矢來町一共社
▲女の世界（四月號）　二十三錢東京麹町有樂町一の四實業之世界社
▲文藝雜誌（四月號）　二十錢東京小石川町一三日本文藝協會
▲新家庭（四月號）　三十錢東京芝公園地九玄文社
▲花（創刊號）　十八錢東京下谷上野櫻木町三東盛園
▲青年界（創刊號）　十錢東京神田三崎町三の一共社
▲料理の友（四月號）　二十二錢東京府上大崎中丸大日本料理研究會
▲日本魂（四月號）　二十錢東京京橋三十間堀三の七共社
▲現代の圖案工藝（家庭號）　二十五錢東京赤坂青山南町二の四〇共社
▲農業世界（四月號）　二十錢東京日本橋本町三博文館

聯合國傷病兵罹災者慰問會寄附者氏名金額（第四回）

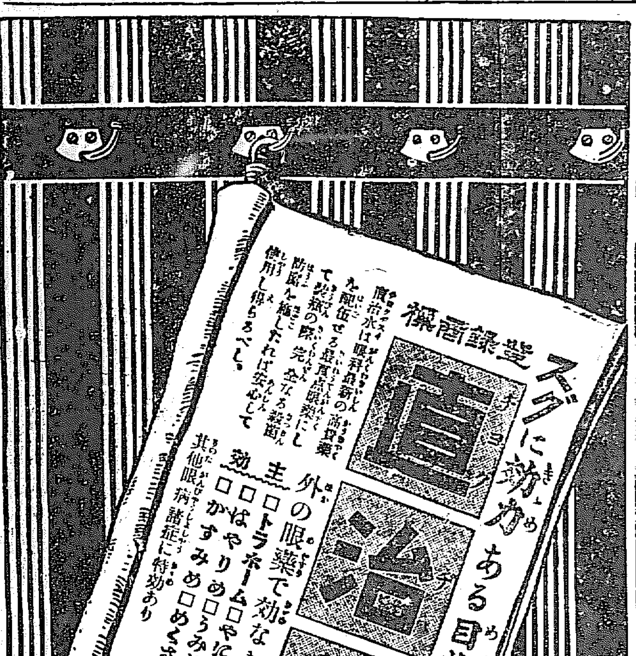
▲金拾圓京城ダブリュー、デー、タウンセント ▲金拾圓仁川 … [illegible]

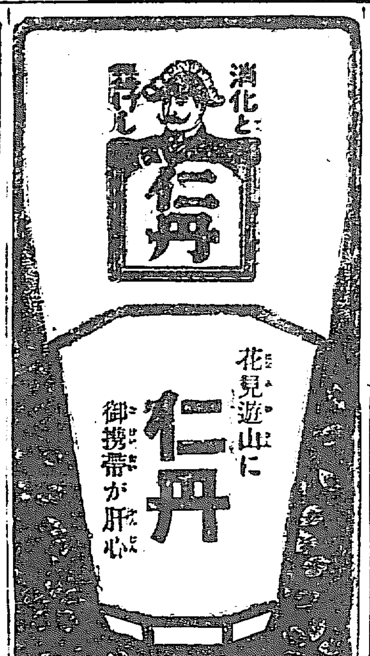
計壹千貳百參拾五圓貳拾錢
累計壹萬八千九百七拾四圓七拾七錢

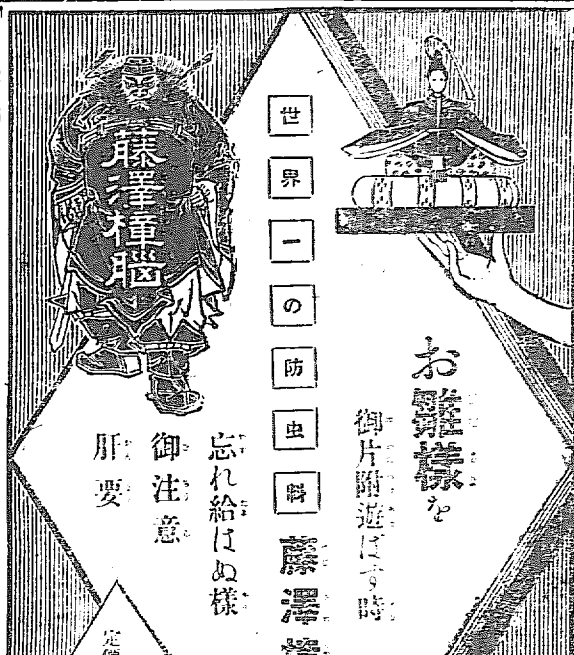


時計貴金屬指輪眼鏡商　地方の御注文は代金引換にて送る　京城本町二丁目　京城銀行前　三浦天龍堂　電話一〇〇二番　振替京城三〇四番

▲山縣五十雄　村上唯吉共著　富の道しるべ　價十五錢　郵稅二錢　京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理部







下山藥學博士、慶松藥學博士證明、田中醫學士實驗、朝比奈藥學博士、岩川醫學士驗定　笹川醫學士、加藤醫學士、山田醫學士實驗の結果理想的治淋劑と確定せる

林病新藥ツヨール

●到處藥舖に販賣　發賣元　東京市日本橋區川瀬石町十一番地　ツヨール商會　關西代理店　大阪道修町　田邊五兵衛

▲本品は殺菌力強大にして絶對に胃腸を害せず、膀胱カタル、尿道炎、睾丸炎、腎臟炎、消渇其他一般急性、慢性、淋病に偉効を奏す

三十粒入　五十錢
五十粒入　八十錢
百粒入　一圓六十錢
廿五瓦入　一圓

▲說明書無料贈呈す

七日ツケタラ鏡をごらん色白くなるゲンソ液

今東京で大評判の元素液色黑き顔赤き顔日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店にあり　近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す　送料内地八錢　滿鮮卅錢　臺樺廿錢　東京神田和泉橋際　松本藥店　小瓶二十錢　中瓶四十錢

りん病　ばい毒　一週分　本劑は殺菌力强大にして　淋病　特製　普通　梅毒　特製　普通　京城永樂町二丁目交番北　京東ドラッグ商會本部

父和三郎儀本月三日郷里若松市中六日町に於て逝去候に付此段謹告候也
追て葬儀は來る八日同地に於て佛式を以て相營可申候
大正六年四月四日
石塚英藏
親戚一同

大邱浦項間自動車時間

上り（一番・二番）　浦項發　安康同　慶州同　永川同　河陽同　大邱着 [illegible]
下り（一番・二番）　大邱發　河陽同　永川同　慶州同　安康同　浦項着 [illegible]

浦項七行　電話番　大塚農場自動車所　大邱出張部　電話一一七番

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大有丸　四月十四日後四時出帆
○秀吉丸　四月八日後四時出帆
○君が代丸　四月十七日後四時出帆
○神代丸　四月十五日後四時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

共同汽船仁川出帆

阿波共同汽船　朝鮮總督府命令船
○芝罘、大連行　伏見丸　四月六日午後入港　四月八日正午出帆
朝鮮・滿洲主要驛にて荷客連絡取扱、大阪地方にては通し運賃低廉にて取扱ふ
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　本町四丁目（電話一七三番）　野口商會
元山代理店　春日町（電話二四七番）　田口回漕部
京城取次店　南大門通（電話二六八・二〇七）　河村運送店

朝鮮郵船出帆

本社　京城南大門通　松原運送店（電話長一七〇番）

○江原丸　○京畿丸　○黄海丸　○咸鏡丸　門司より釜山各港寄港雄基間航路　四月廿三日　四月十五日　四月十九日　四月十日　釜山發
○慶城丸　○昌平丸　元山より各港經由雄基行　四月十四日　四月十日　元山發
○昌平丸　神居港長箭行　四月　日　元山發
○盛德丸　甘浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行　四月十日　釜山發
○江陵丸　○襄陽丸　長生浦方魚津寄港　毎日　釜山發　浦項
○三浦丸　北浦、鎭永、巨文島、濟州島各寄港　四月十二日　釜山發
○海州丸　○巨濟丸　○統營丸　各港經由麗水行　毎日　釜山發
○平壤丸　城津清津行　四月十二日　元山發
○順天丸　各港經由麗水行　三日目毎　木浦發
○慶興丸　各港經由濟州島行西廻　四月九日　木浦發
○慶興丸　南多島、海列島行月三回　四月十三日　木浦發
○公州丸　各港經由濟州島行東廻　四月八日　木浦發
○江原丸　芝罘、大連、青島行　四月　日　仁川發
○麗水丸　○晋州丸　各港經由木浦行　四月十二日　四月八日　仁川發
○宗信丸　海州他各港經由鎭南浦行　四月九日　仁川發
○全州丸　○南陽丸　江華島、橋島、桐島、海州行　毎日午前　仁川發

汽船釜山出帆廣告

門司、神戸、大阪行　○和歌浦丸　四月　日後五時出帆　○立神丸　四月　日後五時出帆
元山、清津、浦潮行　○和歌浦丸　四月　日後十時出帆　○立神丸　四月　日後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行　○第三琴平丸　四月　日後四時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行　○第三琴平丸　四月　日後六時出帆
佐須奈、鹿原、壹岐、博多行　○天草丸　毎月一日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

大阪商船仁川出帆

群山、木浦、釜山、關門、神阪行　○汕頭丸　四月十五日　×信濃川丸　四月十一日　×須磨丸　四月七日　後五時出帆
木浦、釜山、關門、神戸、大阪行　汕頭丸　四月　日　正午出帆
木浦、釜山、鄕の浦、長崎行　×安東丸　四月十四日　×玄武丸　五月二日　後二時出帆
群山、釜山、横濱行　×福州丸　四月十五日　×潮州丸　四月八日　後二時出帆
鎭南浦、大連行　×安東丸　四月九日　四月廿七日　後二時出帆
大連直航　×福州丸　四月九日　×漳州丸　四月廿六日　正午出帆
西湖津新浦城津清津行（元山出帆）　宮島丸　四月廿九日　午後十二時出帆
浦潮行（元山出帆）　宮島丸　四月十一日　午後十二時出帆
上海、基隆、打狗行（大連出帆）　香港丸　四月十五日　前六時出帆　北丸　四月十三日　後四時出帆
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店
切符發賣所　内外通運會社京城支店
切符發賣所　仁川京城通り　開豐旅館

商況

大阪三品（四月五日）[illegible]

▲後場の手振 [illegible]

五日の六月限 [illegible]

●講金騙取判決　滋賀縣東淺 [illegible] 證になり呉れる人なきより知人なる [illegible] 西島某の印章を僞造し [illegible]